

一般国道56号 伊予^{いよ}インター関連
事業再評価

平成23年9月28日

国土交通省 四国地方整備局

一般国道56号 伊予インター関連

【 目 次 】

1. 事業の概要	1
1. 1 事業の目的	1
1. 2 事業計画諸元	2
2. 事業の経緯	3
2. 1 主な事業の経緯	3
3. 事業の必要性等に関する視点	5
3. 1 事業を巡る社会経済情勢等の変化	5
3. 1. 1 事業を巡る社会経済情勢の変化	5
3. 1. 2 事業の効果や必要性	11
3. 1. 3 事業採択時より再評価実施までの周辺環境の変化	22
3. 2 事業の投資効果	24
3. 2. 1 事業の投資効果	24
3. 2. 2 平成22年度点検時からの事業計画の変化	26
3. 3 事業の進捗状況	27
3. 3. 1 事業の進捗状況	27
4. 事業の進捗見込みの視点	28
5. コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点	29
5. 1 コスト縮減	29
5. 2 代替案立案等の可能性	30
6. 地方公共団体等からの要望	30
7. 対応方針（原案）	31

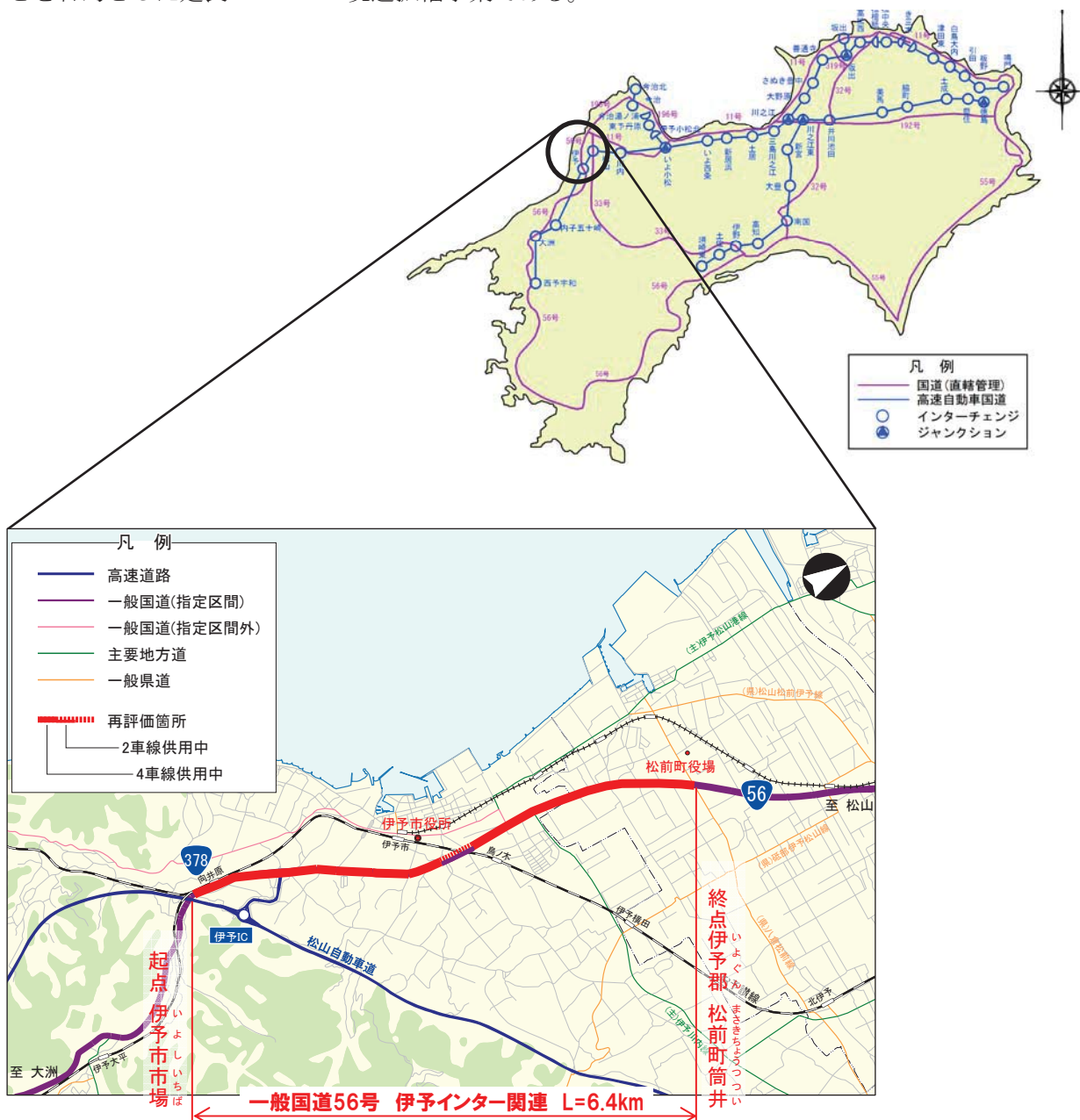
1. 事業の概要

1. 1 事業の目的

国道56号は、高知市を起点に四国の西南地域を経て松山市に至る延長約300kmの主要道路であり、沿線地域の産業・経済活動や地域間の連携を支援する重要な路線である。

このうち伊予市では、自動車交通量の増大により、慢性的な渋滞が発生しており、主要幹線道路としての機能が発揮できていない状況にある。

伊予インター関連は、慢性化した交通渋滞が続く現在の2車線道路を4車線に拡幅改良することにより、交通流の円滑化と交通安全の確保、都市間及び空港・港湾など交通結節点へのアクセス性の向上、松山広域都市圏・地域産業の活性化など、主要幹線道路としての機能向上を図ることを目的とした延長6.4kmの現道拡幅事業である。



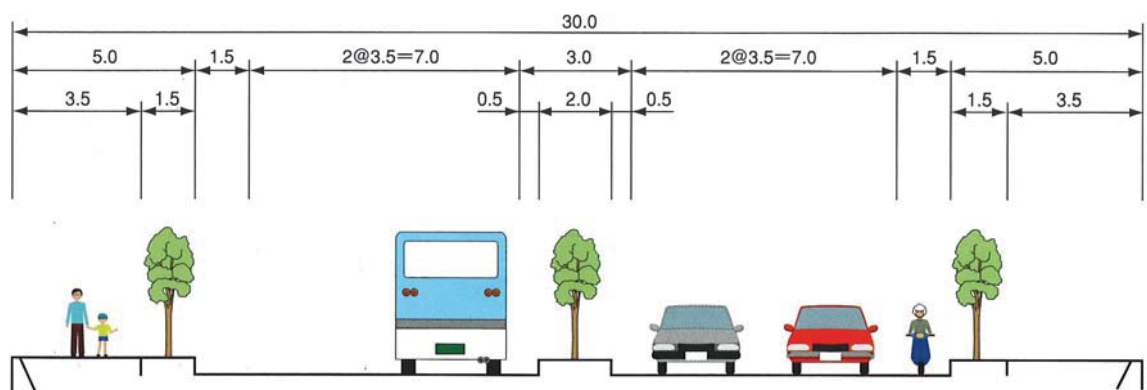
1. 2 事業計画諸元

項 目	内 容
事 業 名	一般国道56号 伊予インター関連
計画区間	愛媛県伊予市市場～愛媛県伊予郡松前町筒井
計画延長	6.4km
構造規格	第4種 第1級
設計速度	60km/h
車 線 数	4車線
標準幅員	W=30.0m、24.0m

【標準横断面図】

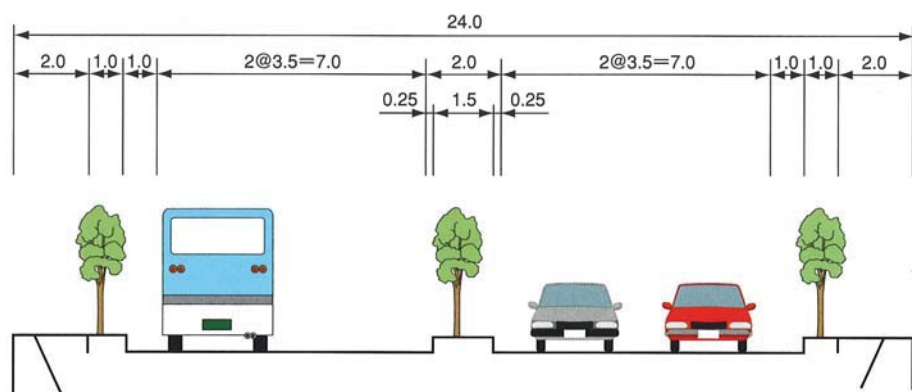
(単位:m)

＜伊予市市場～伊予市下吾川＞（1工区・2工区）



道路構造令（昭和58年）に準拠（都市計画決定 平成3年12月10日）

＜伊予市下吾川～伊予郡松前町筒井＞（3工区）



道路構造令（昭和35年）に準拠（都市計画決定 昭和48年8月7日）

2. 1 主な事業の経緯

年 次	内 容
昭和 48 年度	都市計画決定（伊予市下吾川～伊予郡松前町筒井）
平成 3 年度	都市計画決定（伊予市市場～伊予市下吾川）
平成 4 年度	事業着手
平成 6 年度	用地買収着手
平成 7 年度	工事着手
供用年度の詳細は、下記の事業概要図に示すとおり	

【事業概要図】





●未整備区間（JR跨線橋付近） 【撮影平成 23 年 2 月】

3. 事業の必要性等に関する視点

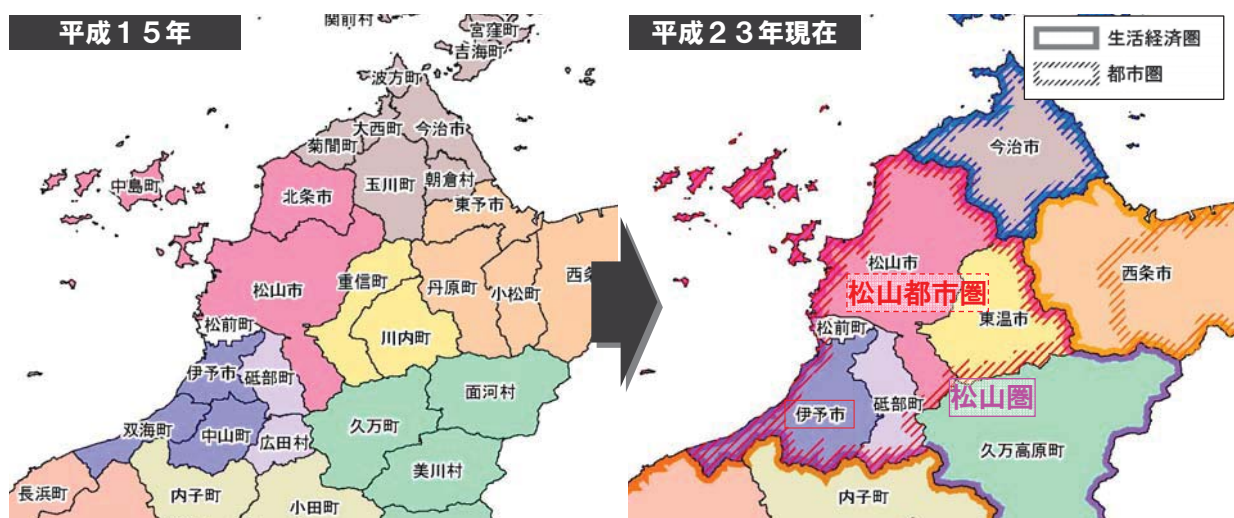
3. 1 事業を巡る社会経済情勢等の変化

3. 1. 1 事業を巡る社会経済情勢の変化

1) 市町村合併の状況

愛媛県では、平成 15 年以降、市町村合併が進展しており、伊予インター関連周辺の市町村では、前回評価時（H18）の前年に伊予市（旧伊予市、旧中山村、旧双海町の 3 市町村の合併）が誕生している。

●愛媛県における市町村合併の変遷

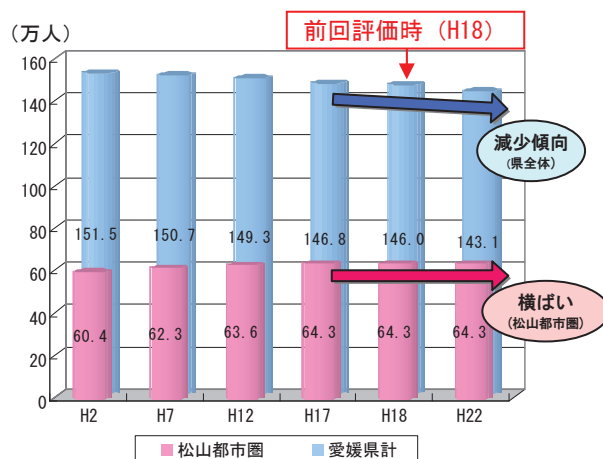


生活経済圏域	都市圏	現在の市町村 (H22. 6月現在)	前回評価時の市町村 (H17. 4. 1時点)	備 考
松山圏	松山都市圏	松山市	松山市 (旧松山市, 旧北条市, 旧中島町)	H17. 1. 1合併
		伊予市	伊予市 (旧伊予市, 旧中山町, 旧双海町)	H17. 4. 1合併
		東温市	東温市 (旧重信町, 旧川内町)	H16. 9. 21合併
		松前町	松前町	
		砥部町	砥部町 (旧砥部町, 旧広田村)	H17. 1. 1合併
		久万高原町	久万高原町 (旧久万町, 旧面河村, 旧美川村, 旧柳谷村)	H16. 8. 1合併
今治圏	今治都市圏	今治市	今治市 (旧今治市, 旧朝倉村, 旧玉川町, 旧波方町, 旧大西町, 旧菊間町, 旧吉海町, 旧宮窪町, 旧伯方町, 旧上浦町, 旧大三島町, 旧関前村)	H17. 1. 16合併
		上島町	上島町 (旧魚島村, 旧弓削町, 旧生名村, 旧岩城村)	H16. 10. 1合併
宇和島圏		宇和島市	宇和島市, 吉田町, 三間町, 津島町	H17. 8. 1合併
		松野町	松野町	
		鬼北町	鬼北町 (旧広見町, 旧日吉村)	H17. 1. 1合併
		愛南町	愛南町 (旧内海村, 旧御荘町, 旧城辺町, 旧一本松町, 旧西海町)	H16. 10. 1合併
八幡浜・大洲圏		八幡浜市	八幡浜市 (旧八幡浜市, 旧保内町)	H17. 3. 28合併
		大洲市	大洲市 (旧大洲市, 旧長浜町, 旧脇川町, 旧河辺村)	H17. 1. 11合併
		西予市	西予市 (旧三瓶町, 旧明浜町, 旧宇和町, 旧野村町, 旧城川町)	H16. 4. 1合併
		内子町	内子町 (旧内子町, 旧五十崎町, 旧小田町)	H17. 1. 1合併
		伊方町	伊方町 (旧伊方町, 旧瀬戸町, 旧三崎町)	H17. 4. 1合併
新居浜・西条圏	新居浜都市圏 (旧新居浜市、旧西条市、 旧小松町)	新居浜市	新居浜市 (旧新居浜市, 旧別子山村)	H15. 4. 1合併
		西条市	西条市 (旧西条市, 旧東予市, 旧小松町, 旧丹原町)	H16. 11. 1合併
宇摩圏		四国中央市	四国中央市 (旧川之江市, 旧伊予三島市, 旧新宮村, 旧土居町)	H16. 4. 1合併

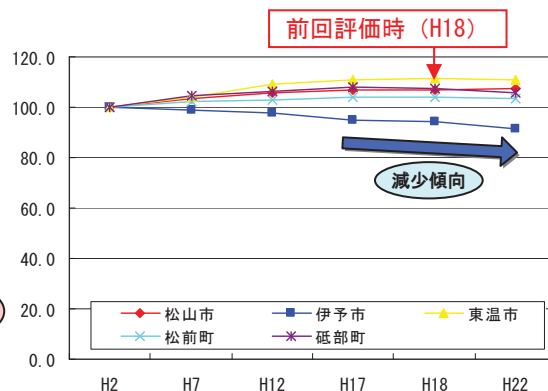
資料：愛媛県市町村合併 HP

2) 人口の動向

愛媛県全体の人口は減少傾向であるのに対し、対象路線が位置する松山都市圏（松山市・伊予市・東温市・松前町・砥部町）の人口はほぼ横ばいであるが、構成市町のうち伊予市のみ減少傾向となっている。（前回評価時（H18）と比べると圏域全体で約1,200人減少）



●松山圏と県全体の人口の推移



●松山都市圏構成市町の人口の推移 (H2を100とした場合)

●人口の推移 (H2～H22)

(単位: 人)

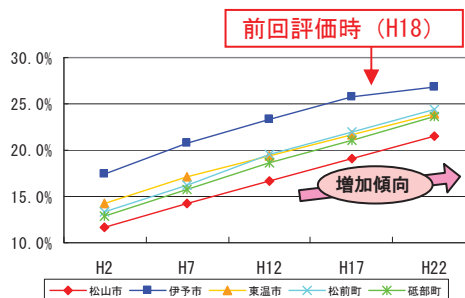
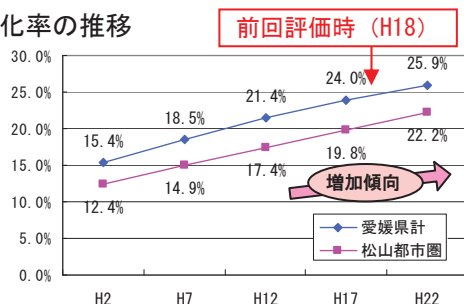
	H2	H7	H12	H17	H18	H22
愛媛県計	1,515,025	1,506,700	1,493,092	1,467,815	1,459,988	1,430,957
松山都市圏	604,332	623,136	635,824	642,696	642,589	642,736
松山市	480,854	497,203	508,266	514,937	515,060	517,088
伊予市	41,516	41,064	40,505	39,493	39,188	38,022
東温市	31,753	33,058	34,701	35,278	35,342	35,280
松前町	29,407	30,106	30,277	30,564	30,595	30,355
砥部町	20,802	21,705	22,075	22,424	22,404	21,991

資料: [H2, H7, H12, H17, H22] 国勢調査 [H18] 愛媛県推計人口 (えひめの統計)

3) 高齢化率の変化

高齢化率は、前回評価時（H18）以降愛媛県・都市圏とも上昇しており、H22には県全体で約26%、松山都市圏で約22%となっている。都市圏構成市町についても同様だが、特に伊予市では県平均を上回る高齢化率となっている。

●高齢化率の推移



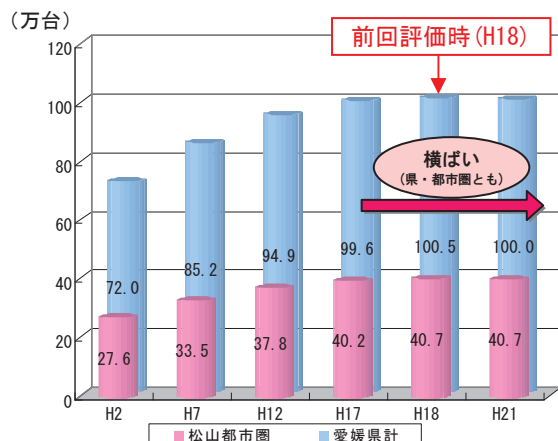
●高齢者数の推移 (H2～H22)

		H2	H7	H12	H17	H22
愛媛県	65歳以上	232,726	278,691	320,078	351,990	379,459
	その他	1,282,299	1,228,009	1,173,014	1,105,825	1,051,536
	計	1,515,025	1,506,700	1,493,092	1,467,815	1,430,957
松山都市圏	65歳以上	74,676	92,941	110,824	127,520	143,064
	その他	529,656	530,195	525,000	515,176	501,588
	計	604,332	623,136	635,824	642,696	642,736
松山市	65歳以上	56,330	70,495	84,615	98,265	111,076
	その他	424,524	426,708	423,651	416,672	405,131
	計	480,854	497,203	508,266	514,937	517,088
伊予市	65歳以上	7,262	8,506	9,481	10,185	10,686
	その他	34,254	32,558	31,024	29,308	29,068
	計	41,516	41,064	40,505	39,493	38,022
東温市	65歳以上	4,499	5,656	6,712	7,625	8,297
	その他	27,254	27,402	27,989	27,653	26,322
	計	31,753	33,058	34,701	35,278	35,280
松前町	65歳以上	3,910	4,868	5,912	6,726	7,693
	その他	25,497	25,238	24,365	23,838	23,868
	計	29,407	30,106	30,277	30,564	30,355
砥部町	65歳以上	2,675	3,416	4,104	4,719	5,312
	その他	18,127	18,289	17,971	17,705	17,199
	計	20,802	21,705	22,075	22,424	21,991

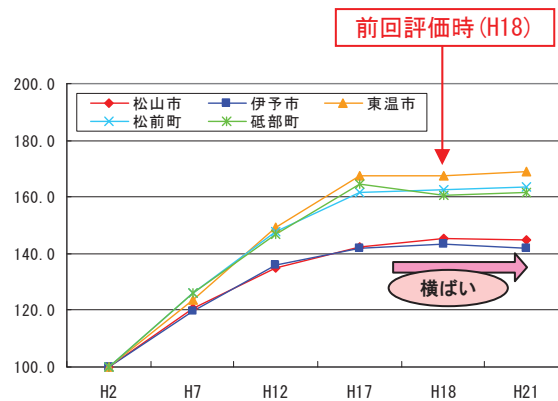
4) 自動車保有台数の推移

自動車保有台数は、愛媛県・松山都市圏ともにほぼ横ばい状態であり、前回評価時（H18）と比べ H21 には都市圏全体で約 900 台減少している。

都市圏の各市町についてもほぼ横ばい状態となっている。



●松山都市圏と県全体の自動車保有台数の推移



●松山都市圏構成市町の自動車保有台数の推移
(H2 を 100 とした場合)

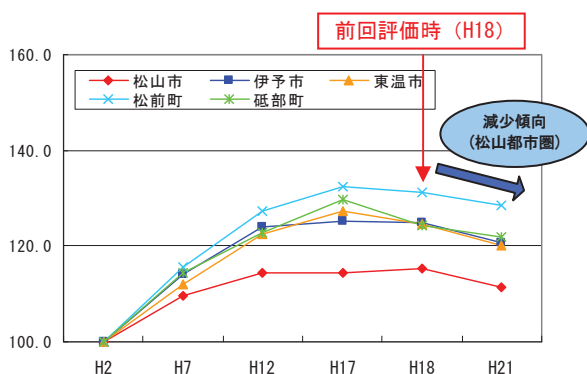
●自動車保有台数の推移 (H2～H21) (単位: 台)

	H2	H7	H12	H17	H18	H21
愛媛県計	719,896	851,993	948,547	995,852	1,005,108	999,534
松山都市圏	276,059	334,522	377,638	401,621	407,464	406,574
松山市	217,788	262,722	293,722	310,255	316,114	315,041
伊予市	20,068	24,016	27,290	28,473	28,744	28,451
東温市	15,239	18,856	22,759	25,503	25,495	25,733
松前町	12,555	15,804	18,569	20,261	20,394	20,544
砥部町	10,409	13,124	15,298	17,129	16,717	16,805

資料：愛媛県統計 BOX（四国運輸局「自動車数の推移」）

5) 世帯あたりの自動車保有台数の推移

世帯当たり自動車保有台数は、前回評価時（H18）以降、松山都市圏、各市町ともやや減少傾向である。



●世帯当たり保有台数の推移 (H2～H21)
(H2 を 100 とした場合)

●世帯当たり保有台数の推移 (H2～H21)

	H2	H7	H12	H17	H18	H21
自動車保有台数 (台)						
愛媛県計	719,896	851,993	948,547	995,852	1,005,108	999,534
松山都市圏	276,059	334,522	377,638	401,621	407,464	406,574
松山市	217,788	262,722	293,722	310,255	316,114	315,041
伊予市	20,068	24,016	27,290	28,473	28,744	28,451
東温市	15,239	18,856	22,759	25,503	25,495	25,733
松前町	12,555	15,804	18,569	20,261	20,394	20,544
砥部町	10,409	13,124	15,298	17,129	16,717	16,805
世帯数 (世帯)						
愛媛県計	512,771	541,701	566,146	582,803	587,504	598,911
松山都市圏	211,075	231,599	248,396	262,005	265,326	273,757
松山市	173,644	191,083	204,924	216,160	218,751	225,655
伊予市	12,140	12,731	13,312	13,747	13,906	14,264
東温市	9,779	10,801	11,921	12,861	13,124	13,754
松前町	9,050	9,857	10,508	11,036	11,205	11,532
砥部町	6,462	7,127	7,731	8,201	8,340	8,552
世帯当たり保有台数 (台/世帯)						
愛媛県計	1.40	1.57	1.68	1.71	1.71	1.67
松山都市圏	1.31	1.44	1.52	1.53	1.54	1.49
松山市	1.25	1.37	1.43	1.44	1.45	1.40
伊予市	1.65	1.89	2.05	2.07	2.07	1.99
東温市	1.56	1.75	1.91	1.98	1.94	1.87
松前町	1.39	1.60	1.77	1.84	1.82	1.78
砥部町	1.61	1.84	1.98	2.09	2.00	1.97

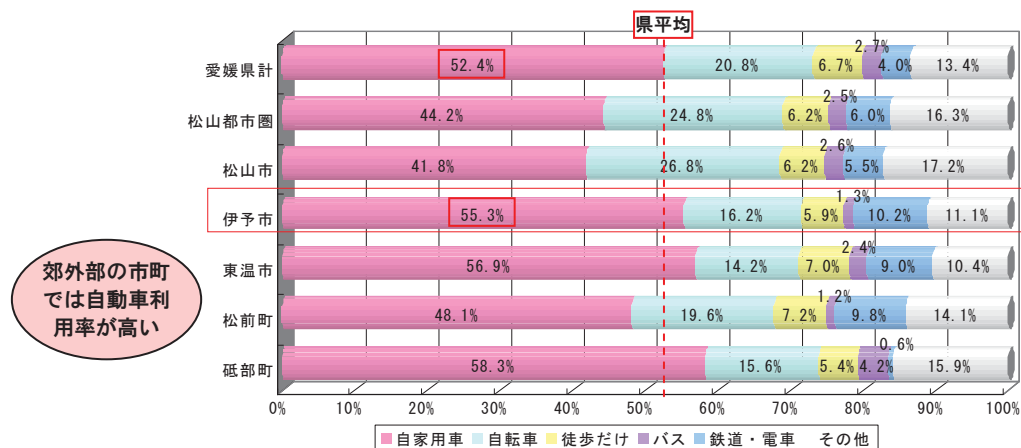
資料：愛媛県統計 BOX（四国運輸局「自動車数の推移」）

国勢調査

6) 地域間流動状況の変化

松山都市圏における通勤通学時の利用交通手段のうち、4割強が自家用車であり、都市圏としては県平均より低い、郊外部である伊予市や東温市、砥部町では県平均を上回っており、半数以上が自家用車となっている。

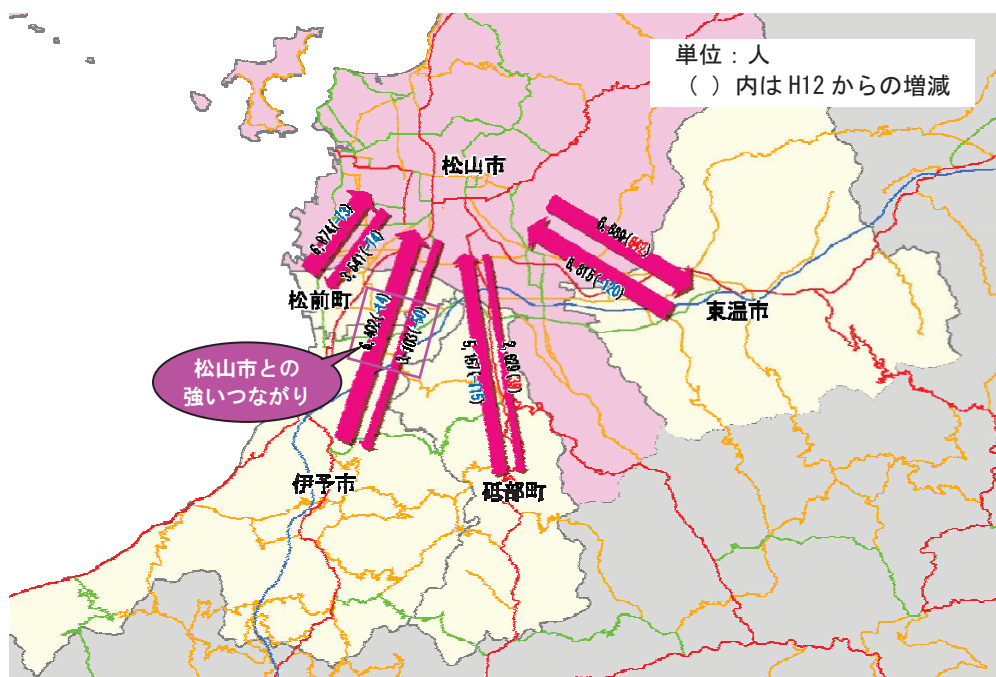
また、通勤通学流動をみると、中心都市である松山市と周辺都市との流動は減少傾向にあるが、伊予市はその減少率が小さく、依然として松山市との強いつながりがみられる。



	自家用車	自転車	徒歩だけ	バス	鉄道・電車	その他
愛媛県計	359,702	142,635	46,098	18,335	27,551	91,962
松山都市圏	141,399	79,390	19,914	7,872	19,151	52,264
松山市	108,343	69,467	16,015	6,619	14,267	44,690
伊予市	10,064	2,939	1,069	230	1,859	2,025
東温市	9,564	2,391	1,178	395	1,519	1,747
松前町	7,095	2,893	1,068	170	1,440	2,077
砥部町	6,333	1,700	584	458	66	1,725

●通勤・通学時の利用交通手段 (H12)

資料：国勢調査 (H12)



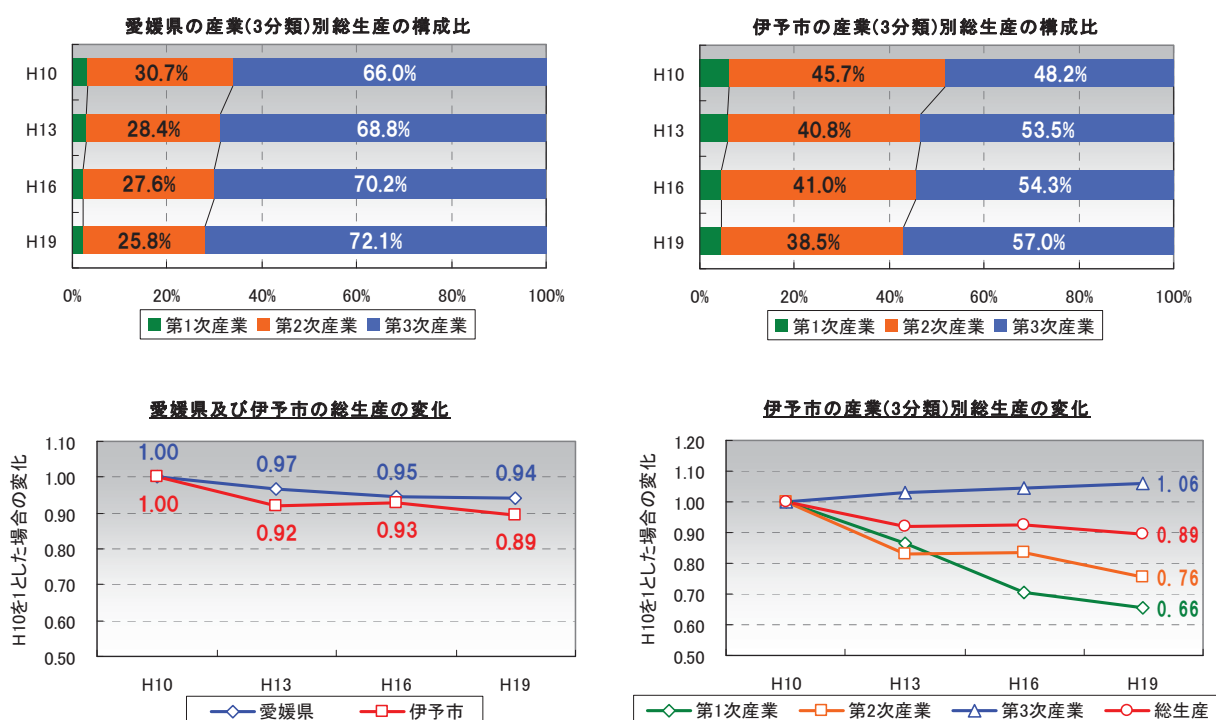
●松山圏の通勤通学流動（松山市との流動状況：H17）

資料：国勢調査 (H12, H17)

7) 産業の動向

■産業別総生産の推移

- ・愛媛県全体及び伊予市の総生産における産業（3 分類）別の構成比を見ると、伊予市では第1次、第2次産業の比率が減少する一方で、第3次産業の比率が年々増加しており、県全体と同様の傾向がみられる。
- ・また、総生産の変化（H10を1とした場合）を見ると、愛媛県全体、伊予市とも減少傾向がみられる。伊予市の総生産の変化を産業（3 分類）別に見ると、減少傾向にある町の総生産に対し、第3次産業は増加傾向であるが、第1次、第2次産業は減少傾向である。



●愛媛県及び伊予市の総生産の推移（H10～H19）

●愛媛県及び伊予市の総生産の推移（H10～H19）

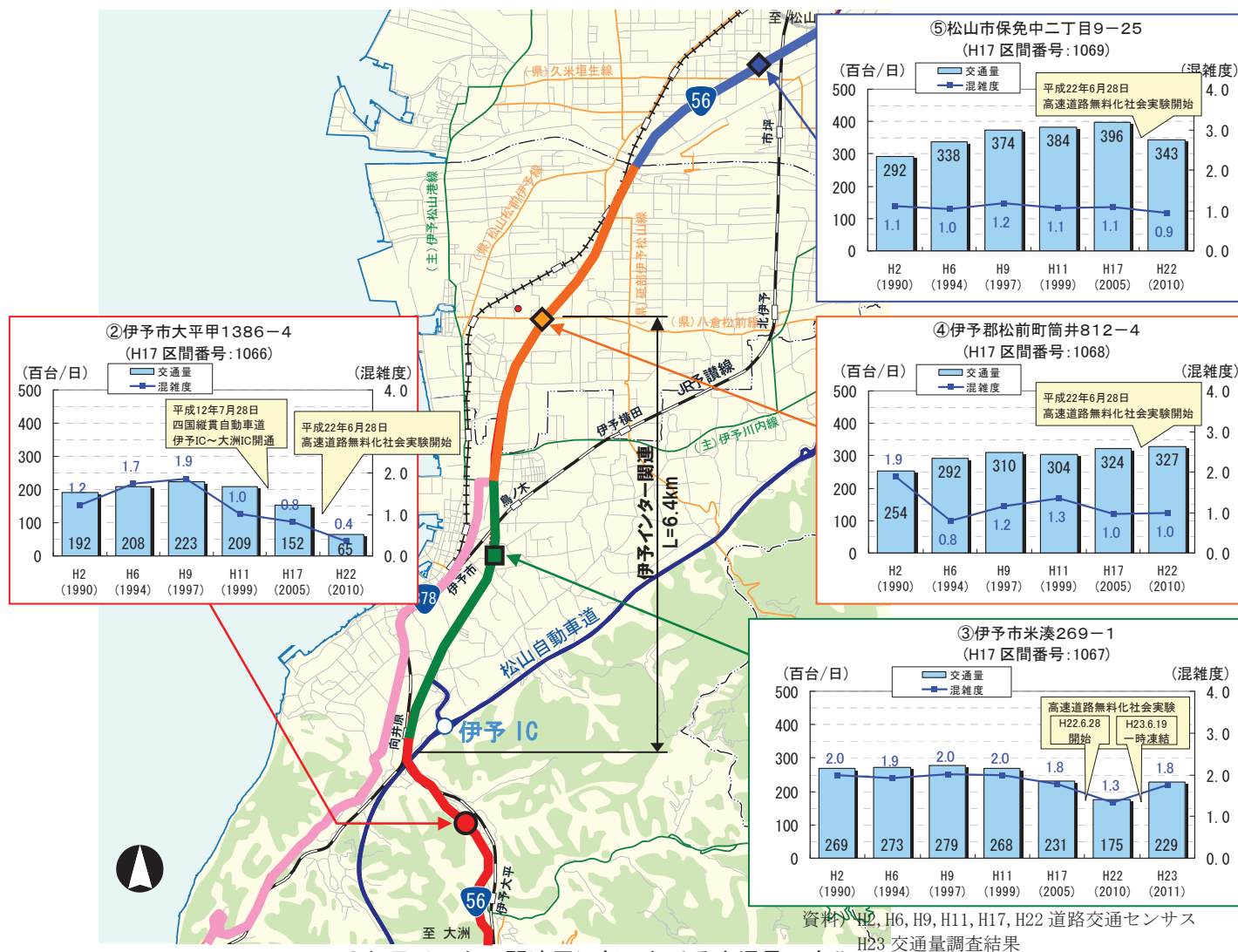
○愛媛県 (単位:百万円)					○伊予市 (単位:百万円)				
産業分類	H10	H13	H16	H19 (前回再評価)	産業分類	H10	H13	H16	H19 (前回再評価)
第1次産業	182,724	151,358	117,610	111,907	第1次産業	9,458	8,160	6,661	6,207
第2次産業	1,704,184	1,531,581	1,453,454	1,345,359	第2次産業	70,208	58,215	58,613	53,023
第3次産業	3,658,926	3,713,917	3,694,467	3,765,481	第3次産業	74,121	76,224	77,533	78,427
小計	5,545,835	5,396,856	5,265,530	5,222,747	小計	153,787	142,599	142,807	137,658
(控除)帰属利子	188,774	221,421	207,264	215,589	(控除)帰属利子	2,942	3,922	3,545	3,786
総生産	5,339,988	5,165,887	5,059,985	5,024,736	総生産	150,371	138,424	139,308	134,334

資料) 愛媛県統計課(愛媛県市町民所得統計)

※) 帰属利子：金融業の受取利息と支払利息の差額。利息は、財貨・サービスの取引によって生じるものではなく、総生産に計上されるべきものでないため控除する。

8) 交通の変化

事業区間の国道 56 号の自動車交通量は、18,000 台/日～33,000 台/日程度となっており、並行路線である松山自動車道が供用した平成 9 年以降も横ばいあるいは漸減傾向にあるが、依然として交通量が多い状況にある。これら交通量は 2 車線道路（未供用区間）の交通容量（第 4 種第 1 級の設計基準交通量 12,000 台/日）を大きく上回っている。



●伊予インター関連周辺部における交通量の変化

地点	路線名	観測地点	平日24h交通量						
			H2	H6	H9	H11	H17	H22	H23
①	一般国道56号	伊予市大平甲1386-4	19,210	20,768	22,288	20,883	15,163	6,502	—
②	一般国道56号	伊予市米湊269-1	26,899	27,338	27,922	26,825	23,136	17,528	22,896
③	一般国道56号	伊予郡松前町筒井812-4	25,382	29,175	30,966	30,382	32,366	32,728	—
④	一般国道56号	松山市保免中二丁目9-25	29,213	33,848	37,412	38,354	39,611	34,290	—

資料) H2, H6, H9, H11, H17, H22 道路交通センサス
H23 交通量調査結果

混雑度の目安

1.00 未満	日中を通して、道路が混雑することなく、円滑に走行できる状態
1.00～1.25	日中のうち、ピーク時間帯に道路が混雑する可能性がある状態
1.25～1.75	ピーク時間帯はもとより、日中の連続的混雑への過渡状態
1.75 以上	慢性的な混雑状態

参考) 「道路の交通容量」 ((社)日本道路協会)

3. 1. 2 事業の効果や必要性

1) 客観的評価指標による事業の効果や必要性

<客観的評価指標(1/2)>

政策目標		指 標	指標チェックの根拠
1. 活力	円滑なモビリティの確保	● 現道等の年間時間損失(人・時間)及び削減率	時間損失削減量:21.7 万人時間/年 削減率 50.9%
		□ 現道等における混雑時旅行速度が 20km/h 未満である区間の旅行速度の改善が期待される	
		□ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が 10,000 台時/日以上 の踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	-
		■ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	伊予鉄バス、宇和島バスが運行しており、所要時間短縮(定時性向上)が見込まれる
		■ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	伊予市中山町～JR 伊予市駅 42 分⇒41 分
		■ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	伊予 IC～松山空港 31 分⇒28 分
	物流効率化の支援	■ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	伊予 IC～松山港 39 分⇒36 分
		■ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる	向井原交差点～伊予連合農協青果 地方卸売市場 15 分⇒10 分
		□ 現道等における、総重量 25t の車両もしくは ISO 規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	-
	都市の再生	□ 都市再生プロジェクトを支援する事業である	-
		□ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	-
		□ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	-
		■ 中心市街地内で行う事業である	市街化区域内での事業
		□ 幹線都市計画道路網密度が 1.5km/km ² 以下である市街地内での事業である	-
		■ DID 区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	DID 区域内での事業
		□ 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300 戸以上又は 16ha 以上、大都市においては 100 戸以上又は 5ha 以上)への連絡道路となる	-
	国土・地域ネットワークの構築	□ 高速自動車国道と並行する自専道(A'路線)としての位置づけ有り	-
		□ 地域高規格道路の位置づけあり	-
		□ 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する(A'路線としての位置づけがある場合)	-
		□ 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	-
		□ 現道等における交通不能区間を解消する	-
		□ 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	-
		■ 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	伊予市役所～松山市役所 34 分⇒28 分

<客観的評価指標(2/2)>

1. 活力	個性ある地域の形成	☐ 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	-
		☐ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	-
		☒ 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	松山市役所～道の駅ふたみ 58分⇒50分
		☐ 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	-
2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	☐ 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上全ての区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	-
		☐ バリアフリー新法に基づく特定道路が新たにバリアフリー化される	-
	無電柱化による美しい町並みの形成	☐ 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り	-
		☐ 市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	-
	安全で安心できるくらしの確保	☒ 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	伊予市双海町～県立中央病院 57分⇒49分 伊予市中山町～県立中央病院 75分⇒67分
	安全な生活環境の確保	☐ 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	-
3. 安全	安全な生活環境の確保	☒ 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上(当該区間が通学路である場合は500台/12h以上)かつ歩行者交通量100人/日以上(当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上)の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	歩道が無い区間に歩道設置
		☐ 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	-
	災害への備え	☒ 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業5ヶ年計画に位置づけのある路線(以下「緊急輸送道路」という)として位置づけあり	愛媛県地域防災計画において第一次緊急輸送道路に指定
		☐ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	-
		☐ 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する(A'路線としての位置づけがある場合)	-
		☒ 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	伊予跨線橋
		☐ 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	-
4. 環境	地球環境の保全	☒ 対象道路の整備により削減される自動車からのCO ₂ 排出量	CO ₂ 排出削減量:4千t-CO ₂ /年 CO ₂ 排出削減率:0.6%
	生活環境の改善・保全	☒ 現道等における自動車からのNO ₂ 排出削減率	NO ₂ 排出削減量:7.6t-NO _x /年 NO ₂ 排出削減率:44%
		☒ 現道等における自動車からのSPM排出削減率	SPM排出削減量:0.7t-SPM/年 SPM排出削減率:44%
		☐ 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	-
		☐ その他、環境や景観上の効果が期待される	-
		☐ 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要がある	-
5. その他	他のプロジェクトとの関係	☐ 他機関との連携プログラムに位置づけられている	-
	その他	☐ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	-
		☐ 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要がある	-

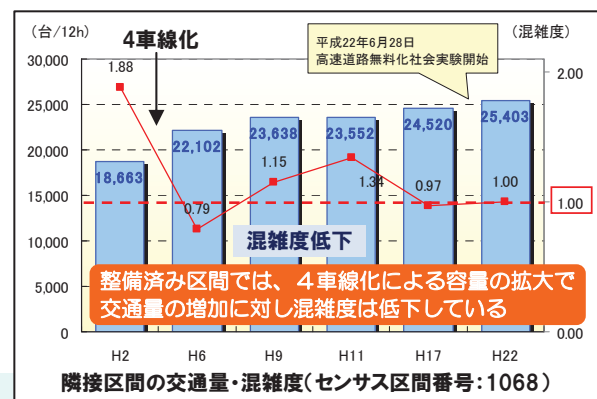
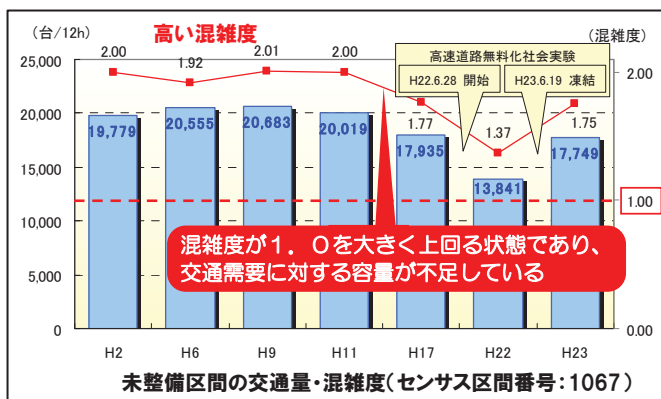
2) 事業の主な効果と必要性

■現道等の年間時間損失及び削減率

並行する路線の時間損失を51%削減

【現状・課題】

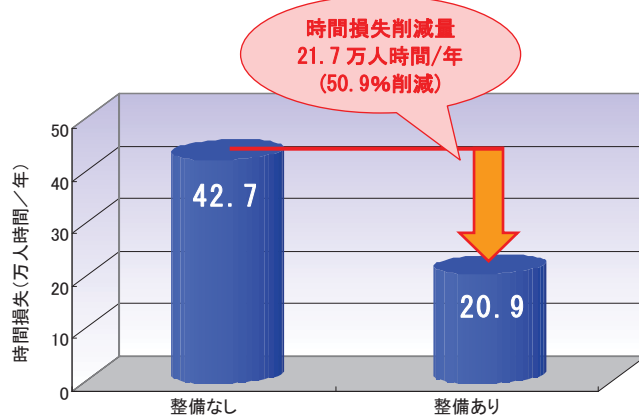
- ・2車線のまま残されボトルネック化している事業中区間（伊予市上吾川～下吾川）は、混雑度が約1.8の高い値を示しており、その影響は前後の4車線整備済区間にも及んでおり、当該区間の容量強化を図ることが緊急課題である。



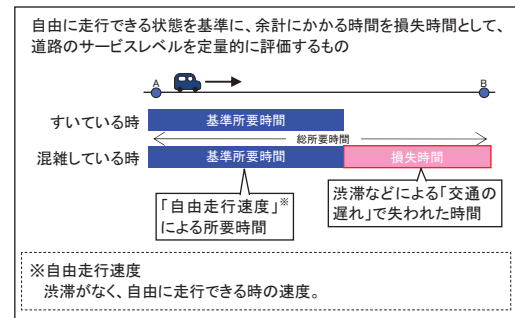
●国道56号における未整備区間の状況

【整備効果】

- ・国道56号の伊予インター関連事業区間の全線が4車線供用した場合、国道の走行速度が向上することにより、周辺道路より交通が移行し、並行する道路も走行速度が向上して所要時間が短縮され、時間損失が大幅に削減されることが期待される。

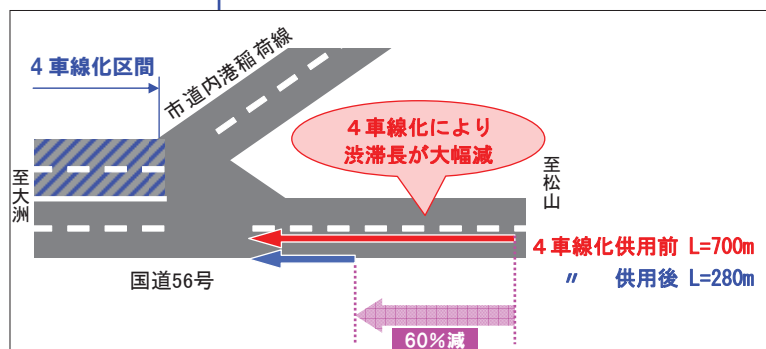
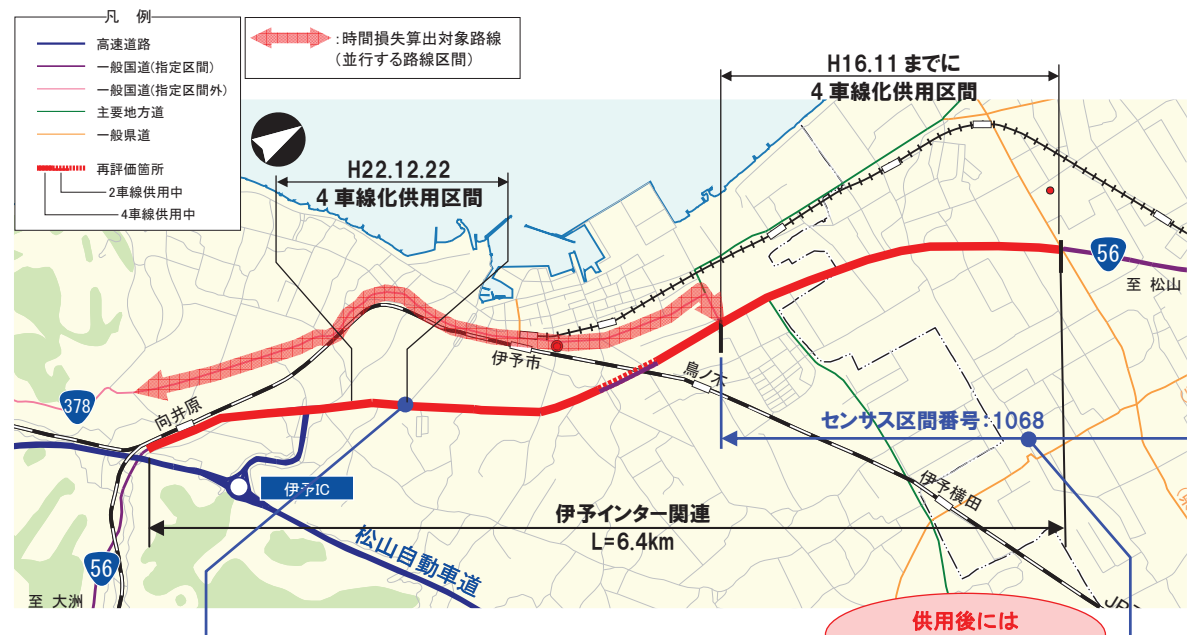


●時間損失の変化



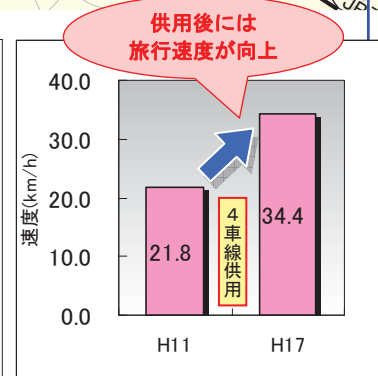
●「自動車交通の損失時間」の考え方

※) 平成17年度道路交通センサスに基づく平成42年
将来交通量推計結果を用いて算出した試算値



●4車線化による渋滞削減

資料) 交通量調査結果 整備前(H22.12.19)
整備後(H23. 1.23)



●国道56号における旅行速度の変化

資料) 道路交通センサス(H11、H17)

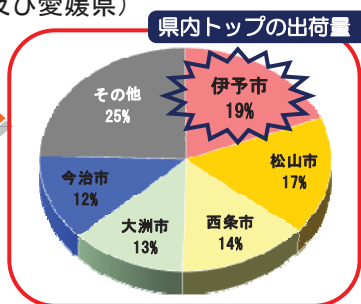
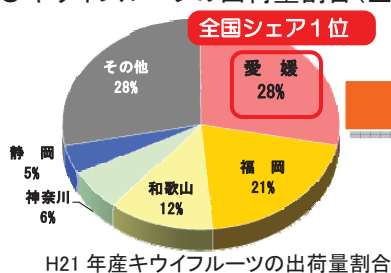
■農林水産品の流通の利便性向上

農林水産業の拠点施設へのアクセスが向上

【現状・課題】

- ・伊予市の基幹産業は農業であり、都市近郊の供給地として、果樹、野菜、花木類の栽培が盛んである。なかでも、愛媛県が生産量全国1位を誇るキウイフルーツは、伊予市が県内で最も生産量が多い。
- ・これら農産物を卸売市場に出荷するための経路である国道56号には、混雑多発箇所が存在するなど、出荷への影響が懸念される。

●キウイフルーツの出荷量割合(全国、及び愛媛県)



資料) 農林水産統計

【整備効果】

- ・国道56号は物流拠点施設への搬出入路や市場へのアクセス道路として機能しており、地域の地場産業である農林水産品等の物流活動を大きく支援する。



●伊予インターから卸売市場までの所要時間の変化

※所要時間は「整備なし」「整備あり」ともH17年度道路交通センサスに基づく平成42年将来交通量推計結果を基に試算した値である

■ 中心市街地で行う事業

市域の骨格的な幹線道路網を構成し、良好な市街地形成を誘導

- ・伊予市は郡中港（現伊予港）を中心に港町として栄えてきた地域で、旧来の中心市街地は臨海部の旧国道56号沿いに集積していたが、内陸部への国道56号の新設に伴い、市街地は東側へと外延化してきている。市の総合計画でも市街地形成ゾーンと位置付けており、国道沿いには大型店舗等の商業施設や業務施設の立地が進展している状況にある。
- ・国道56号の4車線化は、この市街地形成ゾーンにおいて良質な住宅開発や近隣型商業施設の誘導を図るとともに、骨格的な幹線街路を構成するものである。

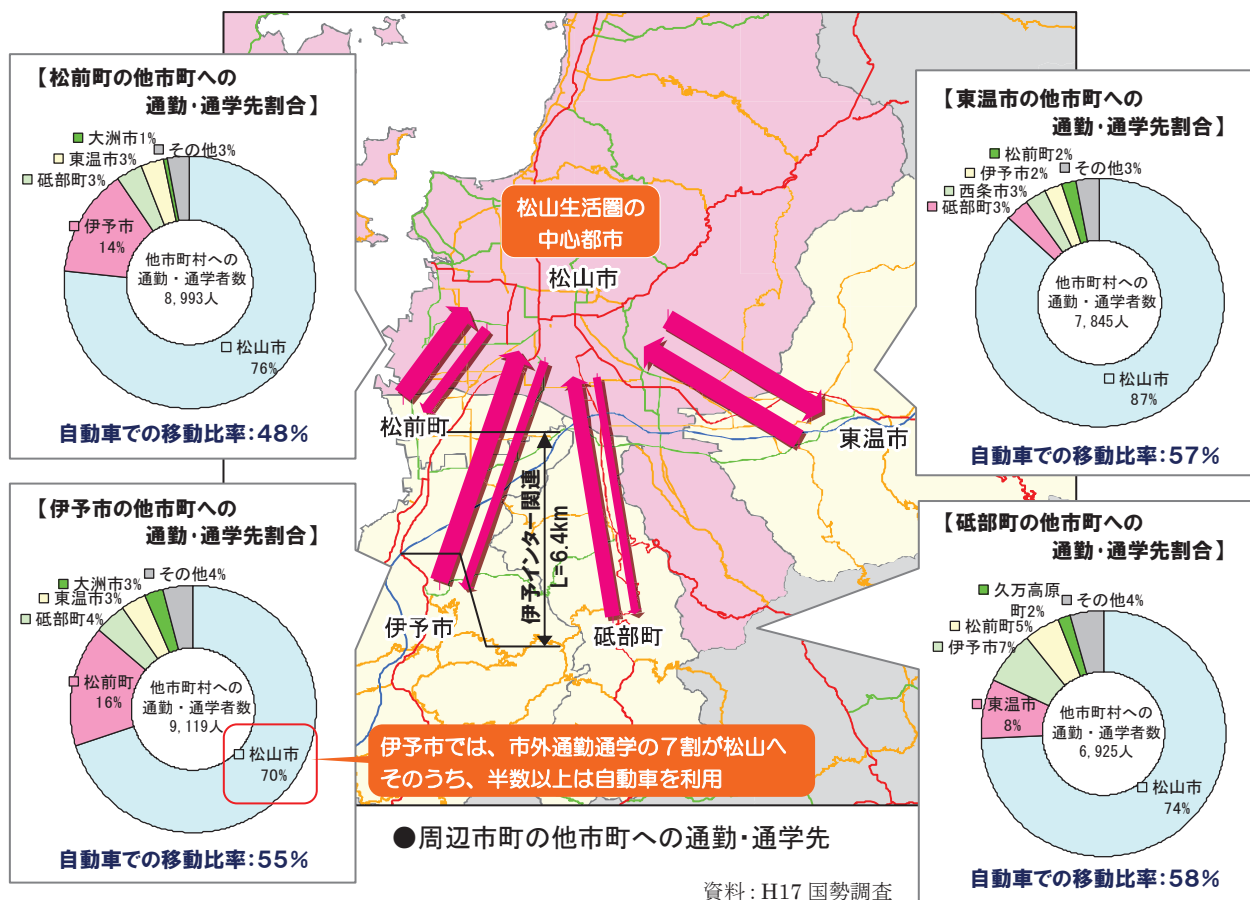


■日常生活圏の中心都市へのアクセス向上

松山広域都市圏の経済社会活動の円滑化と機能拡大に寄与

【現状・課題】

- ・ 県都松山市は、県下最大の生活圏中心都市であり、周辺の市町も含めて広域的な松山都市圏を形成しており、その求心力は大きい。
- ・ 周辺市町は、就業機会の多くを松山市に依存しており、市外への通勤通学のうち7割以上が松山市内へ通勤しており、その多くは自家用車を利用した移動となっている。

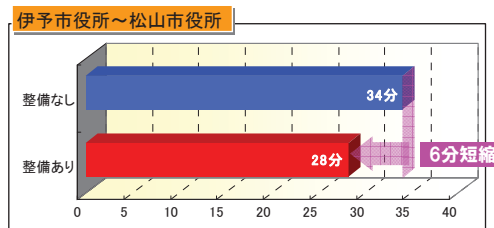


【整備効果】

- ・ 国道56号の4車線化は、ピーク時の慢性的な道路渋滞を解消することになり、伊予市から生活圏中心都市松山市へのアクセスが6分程度向上する。



●4車線化が完了した整備済み区間



●伊予市から松山市までの所要時間の変化

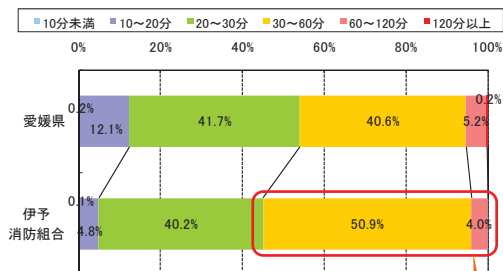
※所要時間は「整備なし」「整備あり」ともH17年度道路交通センサスに基づく平成42年将来交通量推計結果を基に試算した値である

■三次医療施設へのアクセス向上

県立中央病院への所要時間が短縮

【現状・課題】

- ・中予地域では、県立中央病院と愛媛大学付属病院が、三次救急医療を担う病院として、重篤救急患者の受け入れを実施している。
- ・重篤な救急患者に対し救命医療を実施している三次医療施設では、その緊急性から救急患者の輸送体制の整備及びアクセス性の向上が不可欠である。



●収容所要時間別搬送人員状況 (H21)

伊予市では、県全体に比べ収容まで30分以上かかる割合が高い

伊予市には二次・三次救急医療施設がないため、医療施設への迅速な搬送が必要

	二次救急医療施設	三次救急医療施設
松山市	14	1
伊予市	0	0
東温市	0	1
上浮穴郡	0	0
伊予郡	0	0

沿線消防署の声

- ・JRを越える橋の部分では、幅員が狭く上下線の中央を通り抜けることもできず、マイクの指示でどちらかの車線を空けて通り抜ける必要があるため、抜けるまでに時間がかかるので、早く完成させて欲しい。

※伊予消防署ヒアリング結果

資料：H22年度版消防年報
(愛媛県消防防災安全課)

【整備効果】

●二次三次救急医療施設の数

- ・国道56号の事業中区間の全線供用によって、国道の慢性的な交通渋滞が緩和され、伊予市双海町や伊予市中山町方面から救命救急センターまでの搬送時間が短縮され、重篤患者の搬送においては救命率の向上が期待される。



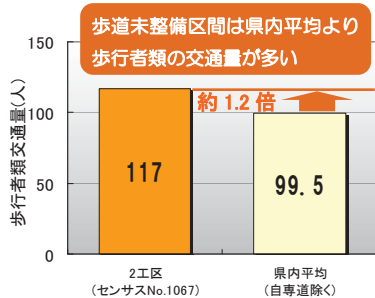
※所要時間は「整備なし」「整備あり」ともH17年度道路交通センサスに基づく平成42年将来交通量推計結果を基に試算した値である

■歩道が無い区間への歩道設置

安全に安心して歩ける歩行空間の確保

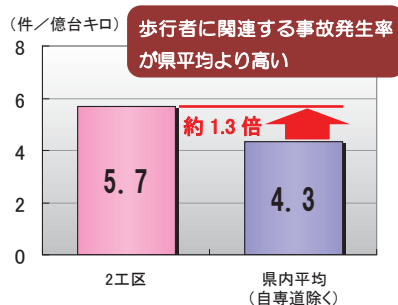
【現状・課題】

- ・国道56号のJR伊予跨線橋の区間には歩道が無く、連続性が途絶え危険な状況にあることから、小・中学校や高等学校の通学者等は周辺の狭い道路を利用して迂回している。



●歩行者類交通量

県内平均：全センサス区間の歩行者交通量をセンサス区間数で除したもの

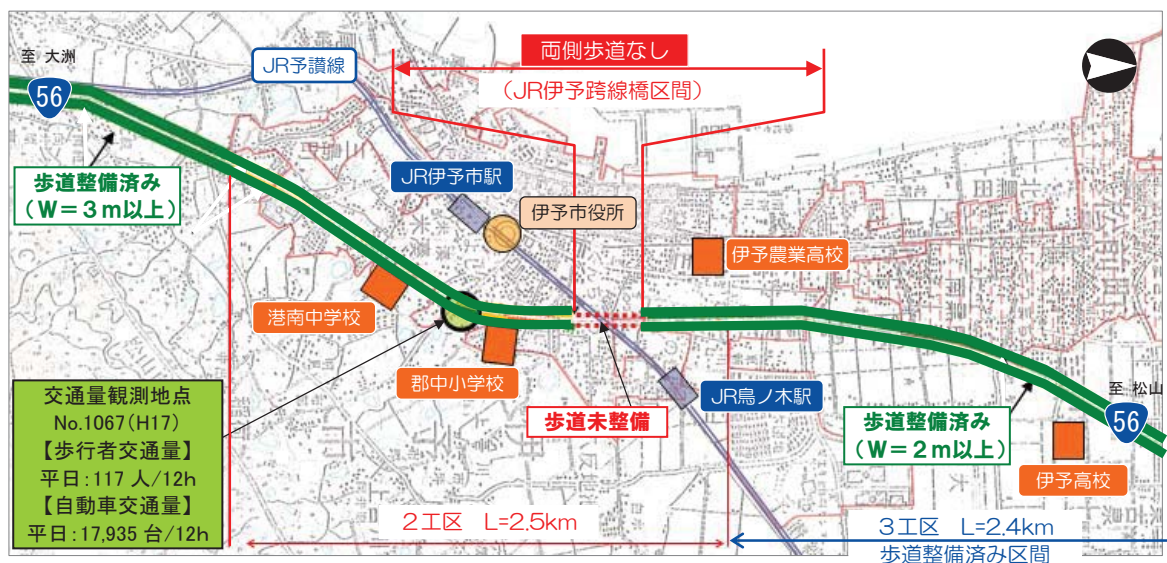


●2工区での歩行者関連の死傷事故率(H17～H21 平均)



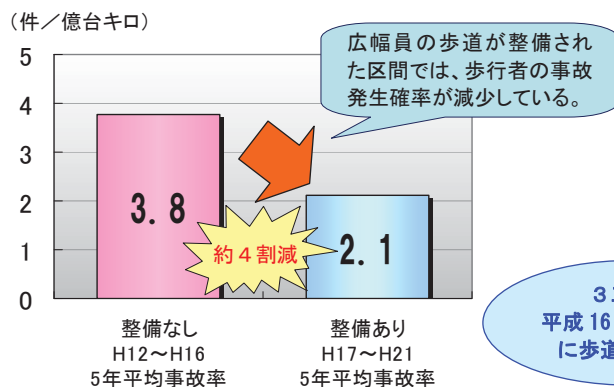
●歩道未整備区間(跨線橋区間)

資料) 交通量データ：H17 道路交通センサス
事故データ：「ITARDA 区間別データ」
(財) 交通事故総合分析センター



【整備効果】

- ・歩道未整備区間への歩道整備により、通学などの歩行者への安全安心な歩行空間が確保され、交通事故への安全性が向上することが期待される。



●3工区(歩道整備済み区間)での歩行者関連の死傷事故率



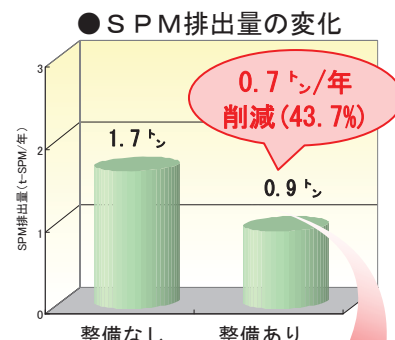
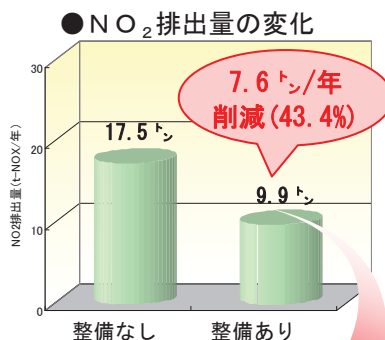
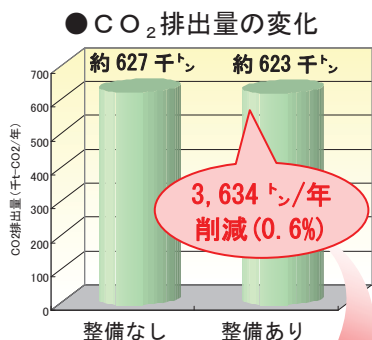
●歩道整備済み区間

資料) 事故データ：「ITARDA 区間別データ」
(財) 交通事故総合分析センター

■自動車からのCO₂、NO₂、SPM排出量削減

CO₂、NO₂、SPMの排出量削減

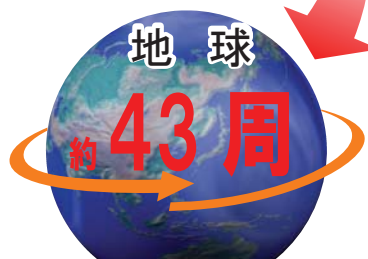
・伊予インター関連の整備により、周辺道路の旅行速度が向上する見込みであることから、CO₂、NO₂及びSPMの排出量の削減が期待できる。



坊っちゃんスタジアム

約 **240 個分**
に相当する森林が
年間に吸収する量※¹

※¹ 森林吸収量 10.6 t /ha
坊っちゃんスタジアムの面積
1.43ha で計算



を大型車が走行した
場合に排出する量※²

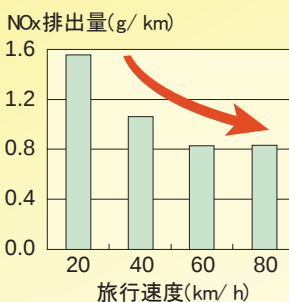
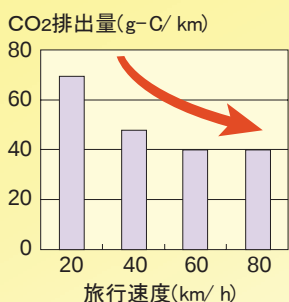
※² 大型車が 40 km/h で走行した
場合の排出係数で計算

500ml
ペットボトル
約 **7,264 本**
に相当する量※³

※³ 500ml ペットボトル 1 本は
SPM100 g として換算

※) 平成 17 年度道路交通センサスに基づく平成 42 年
将来交通量推計結果を用いて算出した試算値

●走行速度と排出ガスの関係



※ 国土交通省道路局 HP 2001 資料「日本の道路」より



自動車から排出される有害物質の量は、自動車の走行速度と密接な関係があります。

走行速度が低い場合(渋滞など)には、上記グラフのように排出量が多く、周辺環境に大きな影響を及ぼすことになります。

走行速度が上がるとこの量は少なくなり、ある一定の速度になるまで低下する傾向にあります。

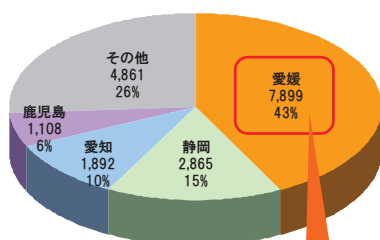
■その他（産業の支援）

地域の産業を支援

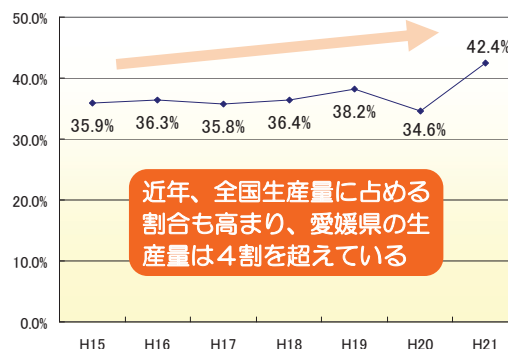
【現状・課題】

- ・愛媛県は水産加工品「かつおけずり節」の生産量が日本一であり、伊予市には水産加工品の工場が集積するなど、伊予市における重要な産業の一つとなっている。
- ・産業物流を支える幹線道路である国道56号の円滑な交通の確保が課題である。

●かつおけずり節の生産量とその割合（H21）



愛媛県はかつおけずり節の生産量が全国トップ



近年、全国生産量に占める割合も高まり、愛媛県の水産量は4割を超えている

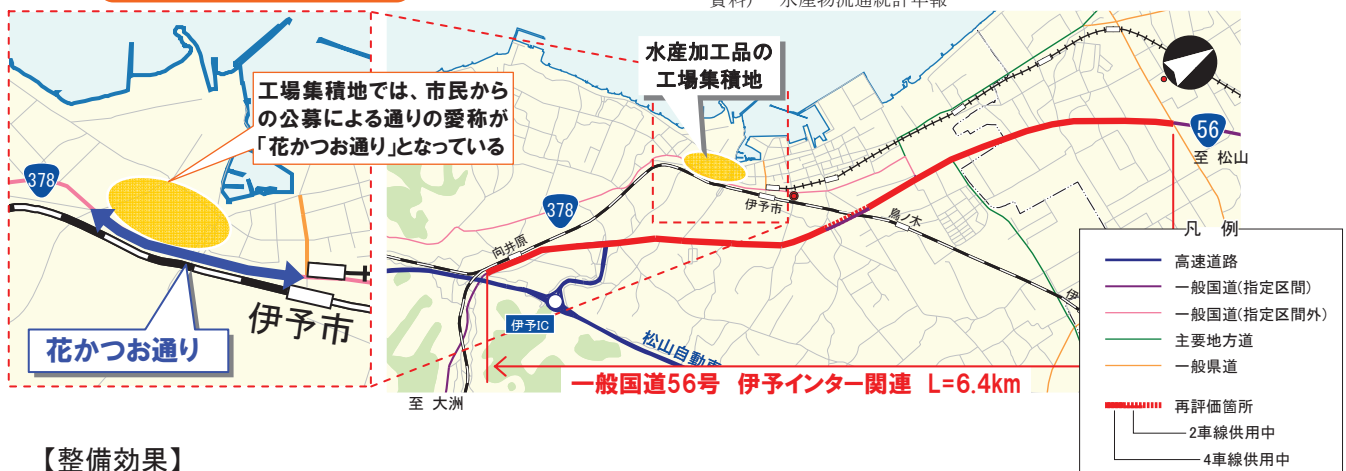
●かつおけずり節生産量の全国シェアの推移

資料) 水産物流通統計年報

水産加工業者の声

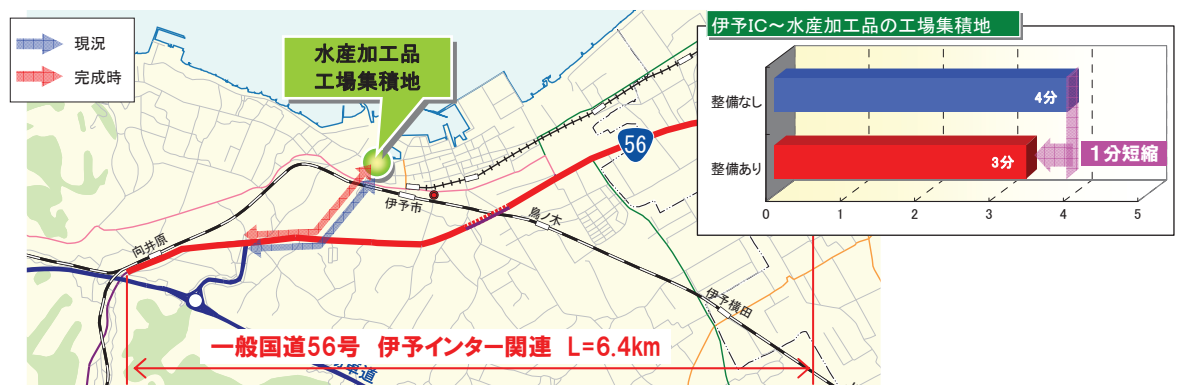
- ・製品の多くは、高速道路を利用して全国に出荷しているが、伊予インターにアクセスするための国道56号が2車線の時には、いつも渋滞していたので、4車線化されて便利になった。

※水産加工工場ヒアリング結果



【整備効果】

- ・水産加工品の工場集積地と物流の拠点となるICとのアクセス性が向上し、物流面での効率化がはかれることで、地域産業の活性化が期待される。



●高速ICから水産加工品工場集積地までの所要時間

3. 1. 3 事業採択時より再評価実施までの周辺環境の変化

■周辺道路の整備状況

(高速道路)

- ・平成 9 年 2 月 四国縦貫自動車道 川内 IC～伊予 IC 間 開通 (L=21.9km)
- ・平成 12 年 7 月 四国縦貫自動車道 伊予 IC～大洲 IC 間 開通 (L=31.8km)
- ・平成 12 年 7 月 四国縦貫自動車道 伊予灘 SA 供用
- ・平成 14 年 3 月 松山自動車道と一般国道 56 号大洲道路連結
- ・平成 16 年 4 月 大洲北只 IC～西予宇和 IC 間 供用(L=15.7km)

(その他)

- ・平成 23 年 3 月 町道 筒井徳丸線 2 工区暫定供用(L=1.3km)

■大規模小売店の出店状況

- ・平成 20 年 4 月 松前町に大型ショッピングセンターオープン

■その他

- ・平成 21 年 3 月 高速道路料金土日祝日上限 1000 円(普通車・軽自動車等)の開始
- ・平成 22 年 6 月 松山自動車道(松山 IC～大洲 IC)の高速道路無料化社会実験開始
- ・平成 23 年 6 月 高速道路料金土日祝日上限 1000 円(普通車・軽自動車等)の廃止
- ・平成 23 年 6 月 松山自動車道(松山 IC～大洲 IC)の高速道路無料化社会実験一時凍結

【伊予インター関連周辺の主な事業】



3. 2 事業の投資効果

3. 2. 1 事業の投資効果

- 全事業、残事業とも費用便益比は1.0を上回っている。
- 救急医療アクセス向上による救命率の向上、歩道設置による安全安心な歩行空間の確保など、多様な整備効果が期待できる。

■ 3 便益による費用便益分析

項 目		事業全体	残事業
費用（C）		547億円	35億円
	事業費	530億円	34億円
	維持管理費	17億円	0.77億円
便益（B）		651億円	109億円
	走行時間短縮便益	620億円	93億円
	走行経費減少便益	24億円	15億円
	交通事故減少便益	7.8億円	0.54億円
費用便益比（B/C）		1.2	3.1
経済的純現在価値（ENPV）		104億円	74億円
経済的内部収益率（EIRR）		4.6%	14.1%

※費用及び便益は基準年（H23）における現在価値の値

■ その他効果

○産業の振興

- ・伊予インター関連の整備により、愛媛県の特産である農産物（キウイフルーツ等）の物流の利便性が向上。
- ⇒向井原交差点から伊予連合農協青果地方卸売市場の所要時間短縮：約5分短縮（15分から10分に短縮）

○医療

- ・伊予インター関連の整備により伊予市から三次医療施設である愛媛県立中央病院への搬送時間が短縮され救命率の向上が期待。
- ⇒伊予市双海町から三次医療施設の所要時間短縮：約8分短縮（57分から49分に短縮）
- 伊予市中山町から三次医療施設の所要時間短縮：約8分短縮（75分から67分に短縮）

○環境

- ・CO₂排出量が約4千トン/年、NO₂排出量が7.6トン/年、SPM排出量が0.7トン/年削減されるなど、環境の改善に貢献。

■感度分析（3 便益）

○全事業

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B／C）
交通量	14,500～ 32,800 台/日	±10%	1.0～1.3
事業費	38 億円	±10%	1.2～1.2
事業期間	4 年	±10%	1.1～1.2

※事業費は単純価値の値

※上記の交通量は、現況＋事業化済み箇所を考慮したネットワークによるもの。

○残事業

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B／C）
交通量	14,500～ 32,800 台/日	±10%	2.6～3.2
事業費	38 億円	±10%	2.9～3.5
事業期間	4 年	±10%	3.0～3.3

※事業費は単純価値の値

※上記の交通量は、現況＋事業化済み箇所を考慮したネットワークによるもの。

3. 2. 2 平成22年度点検時からの事業計画の変化

■費用便益比（B／C）の変化（事業全体での比較）

	H22 総点検時 (平成 22 年度)	今回再評価時 (平成 23 年度)	備考 (H22 総点検時からの変更要因)
総費用 (C)	5 3 4 億円 [4 5 0 億円]	5 4 7 億円 [4 5 0 億円]	・ 基準年の更新により増加 ・ 維持管理費の見直しにより減少
総便益 (B)	6 2 6 億円	6 5 1 億円	・ 基準年の更新により増加
費用便益比 (B／C)	1. 2	1. 2	

※総費用及び総便益は基準年における現在価値の値

[] 書きは、維持管理費を除く事業費

3. 3 事業の進捗状況

3. 3. 1 事業の進捗状況



区間	1 工区	2 工区			3 工区
	伊予市市場 ～伊予市市場	伊予市市場～伊予市下吾川			伊予市下吾川 ～伊予郡松前町筒井
延長	1.5km	1.8km	0.3km	0.4km	2.4km
現状	平成 13 年 3 月までに 供用済(4/4)	平成 23 年 7 月 までに供用済 (4/4)	工事 推進中	平成 22 年 3 月 までに供用済 (4/4)	平成 16 年 11 月までに 供用済(4/4)
用地取得状況	—	—	100%	—	—
全体進捗率 (H22 年度末時点)	約90%				



(撮影) 平成 23 年 7 月



(撮影) 平成 23 年 4 月

4. 事業の進捗見込みの視点

- ・残る伊予市上吾川～下吾川（延長0.3Km）の平成27年度の完成4車線供用に向け、事業を推進している。

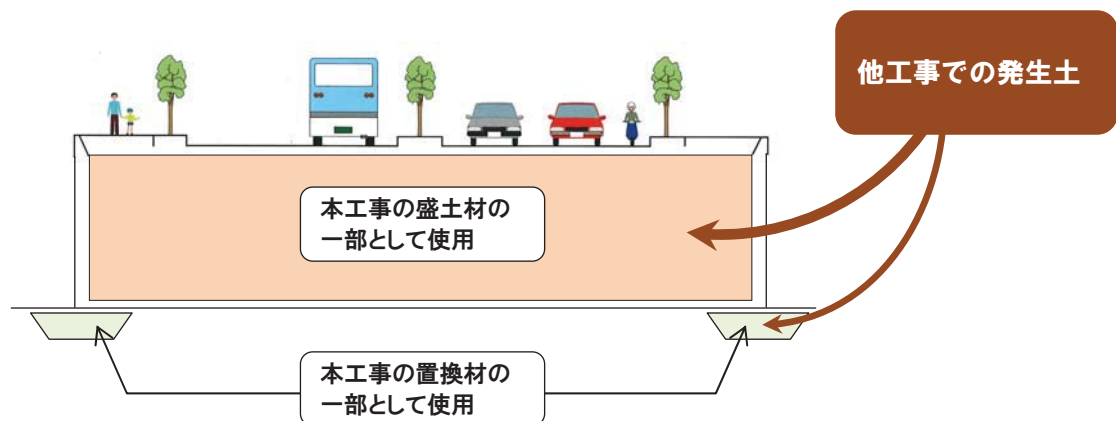


5. コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

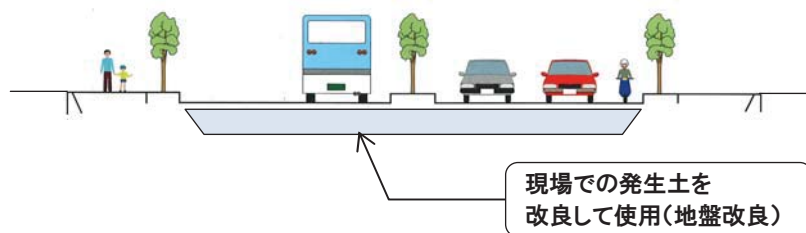
5. 1 コスト縮減

- ・事業の実施にあたっては、路床や路体の盛土材に他工事からの発生土を流用するとともに、現場発生土を改良して活用し、社会的なコスト縮減を図っている。

●他工事の盛土材の流用



●現場発生土の活用



■今後のコスト縮減に対する取り組み

今後も新技術、新工法の採用による工事コストの縮減に加えて、施設の長寿命化や維持管理を考慮した構造の採用等、総コストの縮減に努めていくこととする。

5. 2 代替案立案等の可能性

- ・伊予インター関連の計画は、国道56号の交通混雑の緩和、及び交通安全の確保を図るため、当該地域の地形条件、周辺土地利用との整合等を勘案し選定された合理的な計画である。また、伊予跨線橋区間（上吾川～下吾川 L=0.3km）の前後区間は既に完成4車線供用済みである。さらに用地も100%取得済みであり、代替立案の可能性はない。

6. 地方公共団体等からの要望

- ・周辺自治体などから、本事業の整備促進について、積極的な要望活動が続けられている。

＜伊予インター関連の整備促進に関する最近の主な要望活動について＞

年月日	内容	団体名
平成19年8月	要望活動	松山都市圏道路整備促進期成同盟会
平成20年7月	要望活動	松山都市圏道路整備促進期成同盟会
平成21年7月	要望活動	松山都市圏道路整備促進期成同盟会
平成22年7月	要望活動	松山都市圏道路整備促進期成同盟会

7. 対応方針(原案)

①再評価の視点

(1) 事業の必要性等に関する視点

1) 事業を巡る社会情勢等の変化

【事業を巡る社会情勢等の変化】

- 伊予市の人口は減少傾向、自動車保有台数は横ばい状況で自動車依存が高い
- 現道では交通容量以上の交通需要による混雑発生が課題
- 農林水産品の出荷経路における混雑の緩和が課題
- 救急患者の搬送において、アクセス環境の向上が課題
- 歩道未整備区間があり、安全な歩行空間の確保が課題

【事業の効果や必要性】

- 4車線化による交通容量拡大により、混雑の緩和が期待
- 農産品の出荷ルートである国道56号の混雑緩和による物流のアクセス性向上が期待
- 周辺地域から三次医療施設への所要時間が短縮
- 安全な歩行空間の確保による安全性の向上が期待

2) 事業の投資効果

- 費用便益比(B/C) [事業全体] 1. 2 [残事業] 3. 1

■その他効果

救急医療アクセス向上による救命率の向上、歩道設置による安全安心な歩行空間の確保など、多様な整備効果が期待できる。

3) 事業の進捗状況

- 伊予跨線橋区間の前後区間は完成4車線供用済み
- 用地取得率は100%
- 全体の事業進捗率は約90%。(平成22年度末時点)

(2) 事業進捗の見込みの視点

【事業進捗見込み】

- 残る伊予市上吾川～下吾川については、平成 27 年度の完成 4 車線供用を目指し事業を推進している。

(3) コスト縮減（事業費見直し）や代替案立案等の可能性の視点

- 他工事からの発生土流用や現場発生土の改良による活用等によりコスト縮減を図っている。
- 本計画は、地形条件、土地利用との整合性を勘案し選定された合理的な計画であり、また、伊予跨線橋区間（上吾川～下吾川 L=0.3km）の前後区間は既に完成 4 車線供用済みであるため代替案の可能性はない。

②地方公共団体の意見

【愛媛県知事意見】

- 国の「応方針（原案）」案については異議ありません。【継続】
一般国道 5 6 号伊予インター関連は、現道の交通混雑の緩和、交通安全の確保、四国縦貫自動車道伊予 IC とのアクセス強化などのため必要な道路です。
このため、引き続き、早期の供用を目指して、事業の着実な促進をお願いします。



【今後の対応方針（原案）】

以上のことから、伊予インター関連の事業を継続する。

県への意見照会と回答

国四整企画第34号

平成23年 9月 6日

愛媛県知事 殿

四国地方整備局長



四国地方整備局事業評価監視委員会に諮る
対応方針(原案)の作成に係る意見照会について

平素より国土交通省直轄事業の推進にあたり、ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領(以下「実施要領」という。)に基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その効率性、実施過程の透明性を図るべく、四国地方整備局事業監視委員会(以下「委員会」という。)において、再評価に係る対応方針(原案)について審議しております。

このたび、平成23年9月28日に第2回委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原案)の作成にあたり、平成23年9月20日(火)までに、別紙について貴職のご意見を承りたく依頼いたします。

※ご意見の送付・問い合わせ先

四国地方整備局 企画部 企画課 企画第一係

電話 087-811-8308

FAX 087-811-8408

(再評価)

【道路事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
一般国道11号 川之江三島バイパス	継続	
一般国道11号 新居浜バイパス	継続	
一般国道56号 伊予インター関連	継続	
一般国道56号 五十崎内子拡幅	中止	

※貴県の意見を踏まえ、四国地方整備局事業監視委員会へ諮る対応方針(原案)を作成するためのものです。

23土(技)第397号
平成23年9月14日

四国地方整備局長 様

愛媛県知事 中村 時広



四国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）
の作成に係る意見照会について（回答）

平成23年9月6日付け国四整企画第34号で依頼のあった標記の件について、
別紙のとおり回答いたします。

愛媛県土木部管理局
土木管理課技術企画室
企画調整係 ■■■ (内線 4302)
電話：089-912-2647



(別紙)

各事業の再評価に対する意見は下記のとおりであり、国の「対応方針(原案)」案については異議ありません。

【道路事業】

事業名	「対応方針(原案)」案	備 考
一般国道11号 川之江三島バイパス	継続	意見は下記のとおり
一般国道11号 新居浜バイパス	継続	〃
一般国道56号 伊予インター関連	継続	〃
一般国道56号 五十崎内子拡幅	中止	〃

記

○一般国道11号川之江三島バイパスに対する意見

一般国道11号川之江三島バイパスは、現道の交通混雑の緩和、交通安全の確保などのため必要な道路です。

このため、引き続き、早期の供用を目指して、事業の着実な促進をお願いします。

○一般国道11号新居浜バイパスに対する意見

一般国道11号新居浜バイパスは、現道の交通混雑の緩和、交通安全の確保などのため必要な道路です。

このため、引き続き、早期の供用を目指して、事業の着実な促進をお願いします。

○一般国道56号伊予インター関連に対する意見

一般国道56号伊予インター関連は、現道の交通混雑の緩和、交通安全の確保、四国縦貫自動車道伊予ICとのアクセス強化などのため必要な道路です。

このため、引き続き、早期の供用を目指して、事業の着実な促進をお願いします。

○一般国道56号五十崎内子拡幅に対する意見

本事業箇所である城廻地区の現道については、防災点検による危険箇所もあり、また、道路線形が非常に悪く、交通事故も発生していることから、地元からの改良要望も非常に強いものがあります。

このため、本事業の中止はやむを得ませんが、引き続き、交通安全事業等による現道対策を実施していただくようお願いします。

費用便益比算出資料

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・ＢＰ・その他の別
一般国道５６号	伊予インター 関連	L＝6. 4 k m	二次改築	現拡

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
14, 500～32, 800	4	四国地方整備局

上記の計画交通量は、現況＋事業化済み箇所を考慮したネットワークによるもの。

① 費 用

	事業費	維持管理費	合 計
基 準 年	平成２３年度		
単純合計	429億円	45億円	474億円
うち残事業分	38億円	2. 0億円	40億円
基準年における 現在価値（C）	530億円	17億円	547億円
うち残事業分	34億円	0. 77億円	35億円

② 便 益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計
基 準 年	平成２３年度			
供 用 年	平成２８年度			
単年便益 (初年便益)	38億円	1. 4億円	0. 48億円	40億円
基準年における 現在価値（B）	620億円	24億円	7. 8億円	651億円
うち残事業分	93億円	15億円	0. 54億円	109億円

③ 結 果

費用便益比（事業全体）	1.2
経済的純現在価値（事業全体）	104億円
経済的内部収益率（事業全体）	4.6%
費用便益比（残事業）	3.1
経済的純現在価値（残事業）	74億円
経済的内部収益率（残事業）	14.1%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析

【全事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B／C）
交通量	14,500～32,800 台/日	± 10%	1.0～1.3
事業費	38億円	± 10%	1.2～1.2
事業期間	4年	± 10%	1.1～1.2

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B／C）
交通量	14,500～32,800 台/日	± 10%	2.6～3.2
事業費	38億円	± 10%	2.9～3.5
事業期間	4年	± 10%	3.0～3.3

交通状況の変化

【事業全体】

様式－３①

事業名：伊予インター関連

(推計時点 H 4 2 年)

			整備なし (A)	整備あり (B)	
①新設・改築道路 伊予インター関連 ： 6. 4km	交通量 ^{※1}	[台/日]	13, 827	24, 183	
	走行時間 ^{※2}	[分]	23	14	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	59. 45	59. 37	
②主な周 辺道路 ^{※4}	国道378 号 ： 4. 1km	交通量	[台/日]	10, 488	6, 755
		走行時間	[分]	11	9
		走行時間費用	[億円/年]	20. 86	12. 15
	(主)伊予 松山港線 ： 2. 1km	交通量	[台/日]	8, 842	5, 206
		走行時間	[分]	7	6
		走行時間費用	[億円/年]	12. 66	5. 49
	松山 自動車道 ： 9. 9km	交通量	[台/日]	12, 735	12, 090
		走行時間	[分]	7	7
		走行時間費用	[億円/年]	16. 61	15. 80
	(主)松山 伊予線 ： 1. 3km	交通量	[台/日]	6, 642	4, 794
		走行時間	[分]	2	2
		走行時間費用	[億円/年]	2. 43	1. 62
	市道 ： 8. 6km	交通量	[台/日]	7, 859	4, 250
		走行時間	[分]	22	20
		走行時間費用	[億円/年]	32. 50	16. 25
③その他道路合計： 724. 7km		走行時間費用	[億円/年]	2, 219. 09	2, 218. 33

			走行時間費用 整備なし (A)	走行時間費用 整備あり (B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計： 757. 1km	走行時間短縮便益	[億円/年]	2, 363. 60	2, 329. 01	34. 59

※ 1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

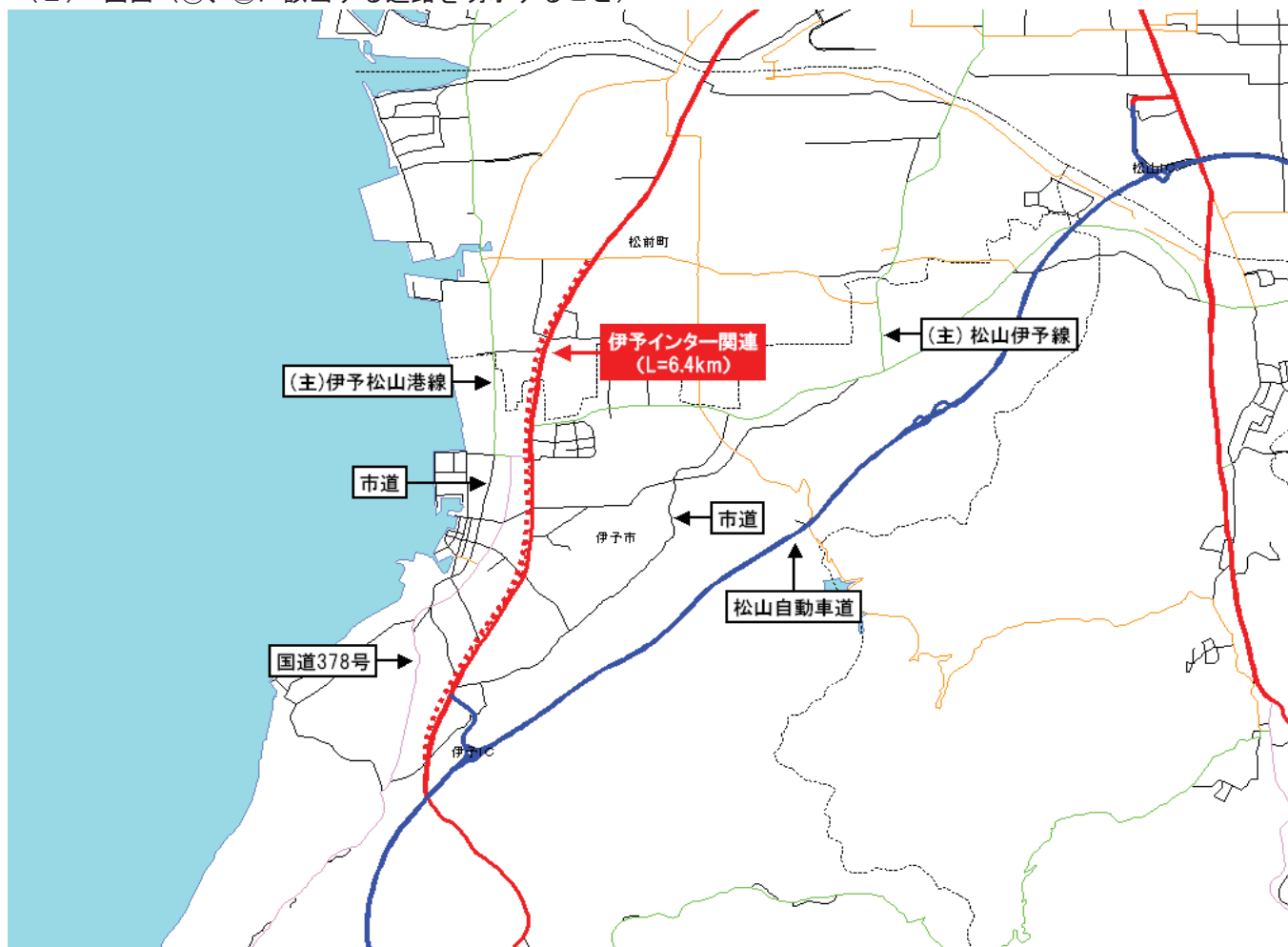
※ 2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※ 3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※ 4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※ 5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



交通状況の変化

【残事業】

様式－3①

事業名：伊予インター関連

(推計時点 H 4 2 年)

			整備なし (A)	整備あり (B)
①新設・改築道路 伊予インター関連 : 6.4km	交通量 ^{※1}	[台/日]	22,589	24,183
	走行時間 ^{※2}	[分]	14	14
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	56.23	59.37
②主な周 辺道路 ^{※4}	国道378 号 : 4.1km	交通量	7,450	6,755
		走行時間	9	9
		走行時間費用	14.35	12.15
	(主)伊予 松山港線 : 2.1km	交通量	5,432	5,206
		走行時間	6	6
		走行時間費用	5.78	5.49
	松山 自動車道 : 9.9km	交通量	12,142	12,090
		走行時間	7	7
		走行時間費用	15.86	15.80
	(主)松山 伊予線 : 1.3km	交通量	4,794	4,794
		走行時間	2	2
		走行時間費用	1.61	1.62
	市道 : 8.6km	交通量	4,704	4,250
		走行時間	20	20
		走行時間費用	17.96	16.25
③その他道路合計：606.3km		走行時間費用	1,876.08	1,871.89

			走行時間費用 整備なし (A)	走行時間費用 整備あり (B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：638.7km	走行時間短縮便益	[億円/年]	1,987.87	1,982.57	5.30

※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

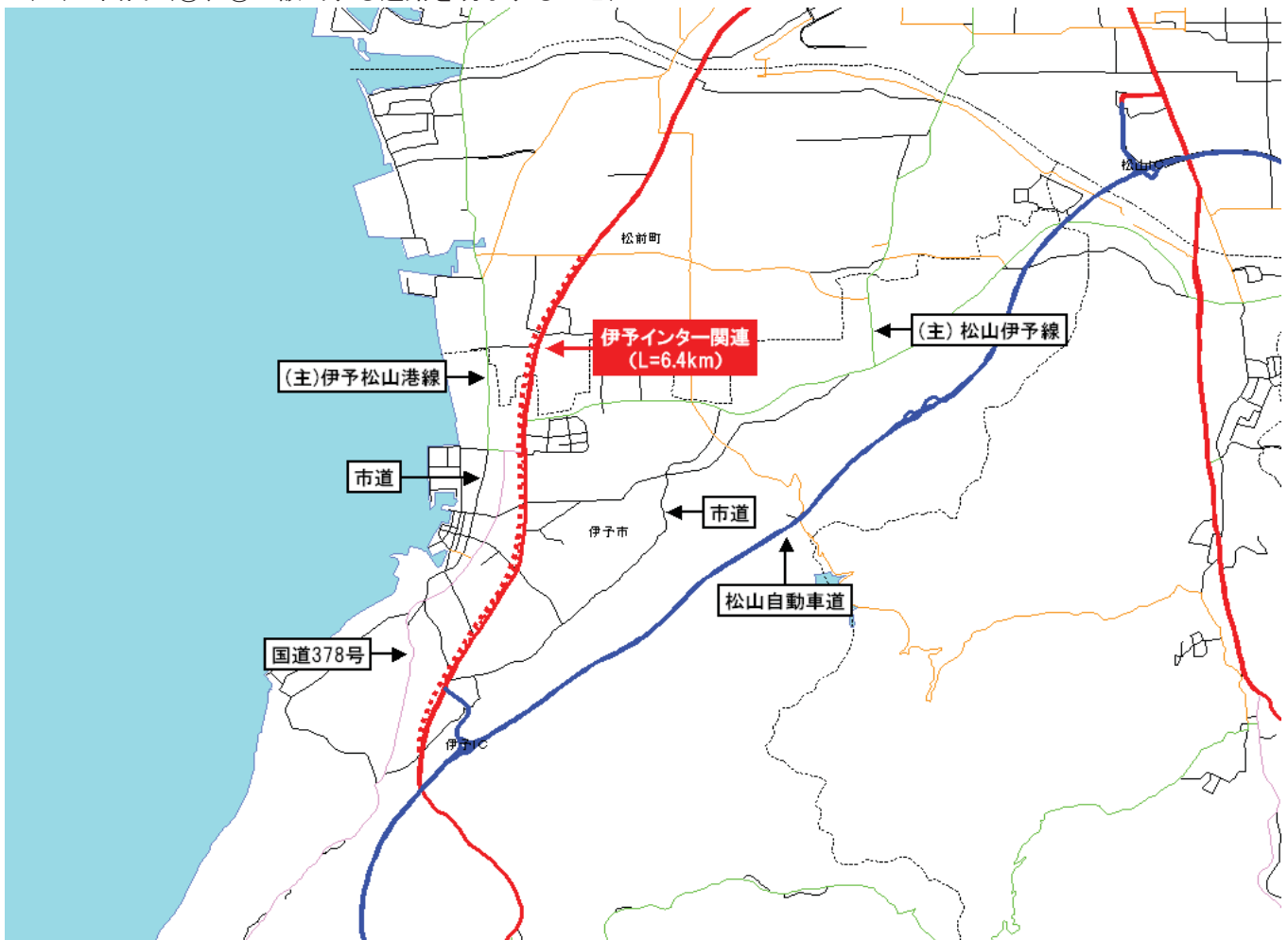
※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



費用便益分析の条件

事業名：伊予インター関連

(2)

項目		チェック欄		
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	☒		
	その他	☐		
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間		
	社会的割引率	4%		
	基準年次	平成23年度		
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計 ☒ (H42)		
		複数時点での推計 ☐		
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	☒	
		整備の有無のいずれかのみ推計	☐ 有 ☐ 無	
		いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ推計とした理由を記載	
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	☒ (H17センサス)	
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	☐	
		その他()	☐	
	開発交通量の考慮	無	☒	
		有	☐	
		有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) ()台トリップ/日 考慮した理由を記載	
	配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	☐	
		転換率式を用いた配分	☐	
		Q-V式と転換率式の併用による配分	☒	
		均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	☐	
		簡易手法	☐	
		簡易手法の 採択理由	小規模事業である	☐
			山間部海岸部で併行道路が少ない	☐
			その他()	
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)			
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定	☐		
	採用理由を記載			
	最終配分の速度	☒		
	採用理由を記載 配分交通量に対する平均的な速度として、 QV式から速度を算出した。			
	その他()	☐		

4 6

(4)

項目		チェック欄	
費用 の 算 定	事業費	詳細事業計画による値を採用	☒
		標準投資パターンを採用	☐
		その他()	☐
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載	
		松山河川国道事務所の実績値より設定	
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	☐
その他			
4. その他			

費用の現在価値算定表

【事業全体】

箇所名：伊予インター関連

維持管理費の単純単価の算出

年次	年度	割戻率 (基準年：H23)	GDP デフレーター	事業費（億円）		維持管理費（億円）	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-24年目	H 4	2.1068	103.4	0.19	0.35		
-23年目	H 5	2.0258	103.7	0.40	0.70		
-22年目	H 6	1.9479	103.6	4.83	8.17		
-21年目	H 7	1.8730	103.0	10.87	17.79		
-20年目	H 8	1.8009	102.4	4.13	6.54		
-19年目	H 9	1.7317	103.4	14.35	21.63		
-18年目	H 10	1.6651	102.8	21.17	30.86		
-17年目	H 11	1.6010	101.3	30.19	42.94		
-16年目	H 12	1.5395	99.7	25.81	35.87		
-15年目	H 13	1.4802	98.4	33.62	45.52		
-14年目	H 14	1.4233	96.6	53.52	70.97		
-13年目	H 15	1.3686	95.4	47.04	60.73		
-12年目	H 16	1.3159	94.4	30.33	38.05		
-11年目	H 17	1.2653	93.2	27.47	33.56		
-10年目	H 18	1.2167	92.5	16.08	19.04		
-9年目	H 19	1.1699	91.7	25.21	28.95		
-8年目	H 20	1.1249	91.2	18.95	21.04		
-7年目	H 21	1.0816	90.0	14.00	15.14		
-6年目	H 22	1.0400	90.0	8.47	8.81		
-5年目	H 23	1.0000	90.0	4.61	4.61		
-4年目	H 24	0.9615	90.0	6.08	5.85		
-3年目	H 25	0.9246	90.0	8.46	7.82		
-2年目	H 26	0.8890	90.0	11.48	10.21		
-1年目	H 27	0.8548	90.0	11.70	10.00		
供用開始年次	H 28	0.8219	90.0			0.90	0.74
1年目	H 29	0.7903	90.0			0.90	0.71
2年目	H 30	0.7599	90.0			0.90	0.68
3年目	H 31	0.7307	90.0			0.90	0.66
4年目	H 32	0.7026	90.0			0.90	0.63
5年目	H 33	0.6756	90.0			0.90	0.61
6年目	H 34	0.6496	90.0			0.90	0.58
7年目	H 35	0.6246	90.0			0.90	0.56
8年目	H 36	0.6006	90.0			0.90	0.54
9年目	H 37	0.5775	90.0			0.90	0.52
10年目	H 38	0.5553	90.0			0.90	0.50
11年目	H 39	0.5339	90.0			0.90	0.48
12年目	H 40	0.5134	90.0			0.90	0.46
13年目	H 41	0.4936	90.0			0.90	0.44
14年目	H 42	0.4746	90.0			0.90	0.43
15年目	H 43	0.4564	90.0			0.90	0.41
16年目	H 44	0.4388	90.0			0.90	0.39
17年目	H 45	0.4220	90.0			0.90	0.38
18年目	H 46	0.4057	90.0			0.90	0.37
19年目	H 47	0.3901	90.0			0.90	0.35
20年目	H 48	0.3751	90.0			0.90	0.34
21年目	H 49	0.3607	90.0			0.90	0.32
22年目	H 50	0.3468	90.0			0.90	0.31
23年目	H 51	0.3335	90.0			0.90	0.30
24年目	H 52	0.3207	90.0			0.90	0.29
25年目	H 53	0.3083	90.0			0.90	0.28
26年目	H 54	0.2965	90.0			0.90	0.27
27年目	H 55	0.2851	90.0			0.90	0.26
28年目	H 56	0.2741	90.0			0.90	0.25
29年目	H 57	0.2636	90.0			0.90	0.24
30年目	H 58	0.2534	90.0			0.90	0.23
31年目	H 59	0.2437	90.0			0.90	0.22
32年目	H 60	0.2343	90.0			0.90	0.21
33年目	H 61	0.2253	90.0			0.90	0.20
34年目	H 62	0.2166	90.0			0.90	0.19
35年目	H 63	0.2083	90.0			0.90	0.19
36年目	H 64	0.2003	90.0			0.90	0.18
37年目	H 65	0.1926	90.0			0.90	0.17
38年目	H 66	0.1852	90.0			0.90	0.17
39年目	H 67	0.1780	90.0			0.90	0.16
40年目	H 68	0.1712	90.0			0.90	0.15
41年目	H 69	0.1646	90.0			0.90	0.15
42年目	H 70	0.1583	90.0			0.90	0.14
43年目	H 71	0.1522	90.0			0.90	0.14
44年目	H 72	0.1463	90.0			0.90	0.13
45年目	H 73	0.1407	90.0			0.90	0.13
46年目	H 74	0.1353	90.0			0.90	0.12
47年目	H 75	0.1301	90.0			0.90	0.12
48年目	H 76	0.1251	90.0			0.90	0.11
49年目	H 77	0.1203	90.0	-124.25	-14.94	0.90	0.11
合 計				304.71	530.21	45.00	16.52
単純事業費計				428.96		45.00	

注１）事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 （投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。）

注２）評価対象期間最終年において、用地残存価値（割引後の用地費）を控除している。

費用の現在価値算定表

【残事業】

箇所名：伊予インター関連

維持管理費の単純単価の算出

				単価(億円)		延長(km)	単純価値(億円)
				0.12		0.3	0.04
年次	年度	割引率 (基準年：H23)	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-4年目	H 24	0.9615	90.0	6.08	5.85		
-3年目	H 25	0.9246	90.0	8.46	7.82		
-2年目	H 26	0.8890	90.0	11.48	10.21		
-1年目	H 27	0.8548	90.0	11.70	10.00		
供用開始年次	H 28	0.8219	90.0			0.04	0.03
1年目	H 29	0.7903	90.0			0.04	0.03
2年目	H 30	0.7599	90.0			0.04	0.03
3年目	H 31	0.7307	90.0			0.04	0.03
4年目	H 32	0.7026	90.0			0.04	0.03
5年目	H 33	0.6756	90.0			0.04	0.03
6年目	H 34	0.6496	90.0			0.04	0.03
7年目	H 35	0.6246	90.0			0.04	0.02
8年目	H 36	0.6006	90.0			0.04	0.02
9年目	H 37	0.5775	90.0			0.04	0.02
10年目	H 38	0.5553	90.0			0.04	0.02
11年目	H 39	0.5339	90.0			0.04	0.02
12年目	H 40	0.5134	90.0			0.04	0.02
13年目	H 41	0.4936	90.0			0.04	0.02
14年目	H 42	0.4746	90.0			0.04	0.02
15年目	H 43	0.4564	90.0			0.04	0.02
16年目	H 44	0.4388	90.0			0.04	0.02
17年目	H 45	0.4220	90.0			0.04	0.02
18年目	H 46	0.4057	90.0			0.04	0.02
19年目	H 47	0.3901	90.0			0.04	0.02
20年目	H 48	0.3751	90.0			0.04	0.02
21年目	H 49	0.3607	90.0			0.04	0.01
22年目	H 50	0.3468	90.0			0.04	0.01
23年目	H 51	0.3335	90.0			0.04	0.01
24年目	H 52	0.3207	90.0			0.04	0.01
25年目	H 53	0.3083	90.0			0.04	0.01
26年目	H 54	0.2965	90.0			0.04	0.01
27年目	H 55	0.2851	90.0			0.04	0.01
28年目	H 56	0.2741	90.0			0.04	0.01
29年目	H 57	0.2636	90.0			0.04	0.01
30年目	H 58	0.2534	90.0			0.04	0.01
31年目	H 59	0.2437	90.0			0.04	0.01
32年目	H 60	0.2343	90.0			0.04	0.01
33年目	H 61	0.2253	90.0			0.04	0.01
34年目	H 62	0.2166	90.0			0.04	0.01
35年目	H 63	0.2083	90.0			0.04	0.01
36年目	H 64	0.2003	90.0			0.04	0.01
37年目	H 65	0.1926	90.0			0.04	0.01
38年目	H 66	0.1852	90.0			0.04	0.01
39年目	H 67	0.1780	90.0			0.04	0.01
40年目	H 68	0.1712	90.0			0.04	0.01
41年目	H 69	0.1646	90.0			0.04	0.01
42年目	H 70	0.1583	90.0			0.04	0.01
43年目	H 71	0.1522	90.0			0.04	0.01
44年目	H 72	0.1463	90.0			0.04	0.01
45年目	H 73	0.1407	90.0			0.04	0.01
46年目	H 74	0.1353	90.0			0.04	0.01
47年目	H 75	0.1301	90.0			0.04	0.01
48年目	H 76	0.1251	90.0			0.04	0.01
49年目	H 77	0.1203	90.0			0.04	0.00
合 計				37.72	33.88	2.00	0.77
単純事業費計				37.72		2.00	

注１）事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
（投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。）

注２）評価対象期間最終年において、用地残存価値（割引後の用地費）を控除している。

便益の現在価値算定表

【事業全体】

箇所名：伊予インター関連

年次	年度 基準年	総走行台和の年次別伸び率 (四国ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレーター	走行時間短縮便益 (億円/年)					走行費用減少便益 (億円/年)					事故減少便益 (億円/年)		合計 (億円/年)	
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全 車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 ②×(A)	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①～③)	割引率4%
供用開始年次	H 28	0.99373	0.98908	0.99477	0.99274	0.8219	90.0	23.30	8.76	5.68	37.74	31.02	0.86	0.14	0.40	1.41	1.16	0.48	0.40	39.63	32.58
1年目	H 29	0.99369	0.98896	0.99475	0.99269	0.7903	90.0	23.15	8.67	5.65	37.47	29.61	0.86	0.14	0.40	1.40	1.10	0.48	0.38	39.35	31.09
2年目	H 30	0.99365	0.98883	0.99472	0.99263	0.7599	90.0	23.01	8.57	5.62	37.20	28.27	0.85	0.14	0.40	1.39	1.06	0.47	0.36	39.06	29.69
3年目	H 31	0.99361	0.98871	0.99469	0.99258	0.7307	90.0	22.86	8.47	5.59	36.92	26.98	0.85	0.14	0.40	1.38	1.01	0.47	0.34	38.77	28.33
4年目	H 32	0.99357	0.98858	0.99466	0.99252	0.7026	90.0	22.71	8.38	5.56	36.65	25.75	0.84	0.13	0.40	1.37	0.96	0.47	0.33	38.49	27.04
5年目	H 33	0.99514	0.98954	0.99856	0.99416	0.6756	90.0	22.60	8.29	5.55	36.44	24.62	0.84	0.13	0.40	1.36	0.92	0.46	0.31	38.27	25.85
6年目	H 34	0.99512	0.98942	0.99856	0.99412	0.6496	90.0	22.49	8.20	5.54	36.24	23.54	0.83	0.13	0.39	1.36	0.88	0.46	0.30	38.06	24.72
7年目	H 35	0.99509	0.98931	0.99856	0.99409	0.6246	90.0	22.38	8.11	5.54	36.03	22.51	0.83	0.13	0.39	1.35	0.84	0.46	0.29	37.84	23.64
8年目	H 36	0.99507	0.98920	0.99856	0.99406	0.6006	90.0	22.27	8.03	5.53	35.83	21.52	0.82	0.13	0.39	1.35	0.81	0.46	0.27	37.63	22.60
9年目	H 37	0.99505	0.98908	0.99856	0.99402	0.5775	90.0	22.16	7.94	5.52	35.62	20.57	0.82	0.13	0.39	1.34	0.77	0.45	0.26	37.41	21.60
10年目	H 38	0.99502	0.98896	0.99855	0.99398	0.5553	90.0	22.05	7.85	5.51	35.41	19.67	0.82	0.13	0.39	1.33	0.74	0.45	0.25	37.20	20.66
11年目	H 39	0.99500	0.98883	0.99855	0.99395	0.5339	90.0	21.94	7.76	5.50	35.21	18.80	0.81	0.12	0.39	1.33	0.71	0.45	0.24	36.98	19.75
12年目	H 40	0.99497	0.98871	0.99855	0.99391	0.5134	90.0	21.83	7.68	5.50	35.00	17.97	0.81	0.12	0.39	1.32	0.68	0.45	0.23	36.77	18.88
13年目	H 41	0.99495	0.98858	0.99855	0.99387	0.4936	90.0	21.72	7.59	5.49	34.80	17.18	0.80	0.12	0.39	1.32	0.65	0.44	0.22	36.55	18.05
14年目	H 42	0.99492	0.98845	0.99855	0.99384	0.4746	90.0	21.61	7.50	5.48	34.59	16.42	0.80	0.12	0.39	1.31	0.62	0.44	0.21	36.34	17.25
15年目	H 43	0.99044	0.99323	1.00173	0.99206	0.4564	90.0	21.40	7.45	5.49	34.34	15.67	0.79	0.12	0.39	1.30	0.59	0.44	0.20	36.08	16.46
16年目	H 44	0.99035	0.99318	1.00173	0.99200	0.4388	90.0	21.20	7.40	5.50	34.09	14.96	0.78	0.12	0.39	1.29	0.57	0.43	0.19	35.82	15.72
17年目	H 45	0.99025	0.99313	1.00173	0.99193	0.4220	90.0	20.99	7.35	5.51	33.85	14.28	0.78	0.12	0.39	1.29	0.54	0.43	0.18	35.56	15.00
18年目	H 46	0.99015	0.99309	1.00172	0.99187	0.4057	90.0	20.78	7.30	5.52	33.60	13.63	0.77	0.12	0.39	1.28	0.52	0.43	0.17	35.30	14.32
19年目	H 47	0.99006	0.99304	1.00172	0.99180	0.3901	90.0	20.58	7.25	5.53	33.35	13.01	0.76	0.12	0.39	1.27	0.50	0.42	0.16	35.04	13.67
20年目	H 48	0.98996	0.99299	1.00172	0.99173	0.3751	90.0	20.37	7.20	5.54	33.10	12.42	0.75	0.12	0.39	1.26	0.47	0.42	0.16	34.78	13.05
21年目	H 49	0.98986	0.99294	1.00171	0.99167	0.3607	90.0	20.16	7.14	5.55	32.85	11.85	0.75	0.11	0.39	1.26	0.45	0.42	0.15	34.53	12.45
22年目	H 50	0.98975	0.99289	1.00171	0.99160	0.3468	90.0	19.96	7.09	5.56	32.61	11.31	0.74	0.11	0.40	1.25	0.43	0.41	0.14	34.27	11.88
23年目	H 51	0.98965	0.99284	1.00171	0.99152	0.3335	90.0	19.75	7.04	5.57	32.36	10.79	0.73	0.11	0.40	1.24	0.41	0.41	0.14	34.01	11.34
24年目	H 52	0.98954	0.99279	1.00170	0.99145	0.3207	90.0	19.54	6.99	5.57	32.11	10.30	0.72	0.11	0.40	1.23	0.40	0.41	0.13	33.75	10.83
25年目	H 53	0.98943	0.99274	1.00170	0.99138	0.3083	90.0	19.34	6.94	5.58	31.86	9.82	0.72	0.11	0.40	1.22	0.38	0.40	0.12	33.49	10.32
26年目	H 54	0.98931	0.99268	1.00170	0.99130	0.2965	90.0	19.13	6.89	5.59	31.61	9.37	0.71	0.11	0.40	1.22	0.36	0.40	0.12	33.23	9.85
27年目	H 55	0.98920	0.99263	1.00170	0.99123	0.2851	90.0	18.92	6.84	5.60	31.37	8.94	0.70	0.11	0.40	1.21	0.34	0.39	0.11	32.97	9.39
28年目	H 56	0.98908	0.99257	1.00169	0.99115	0.2741	90.0	18.72	6.79	5.61	31.12	8.53	0.69	0.11	0.40	1.20	0.33	0.39	0.11	32.71	8.97
29年目	H 57	0.98896	0.99252	1.00169	0.99107	0.2636	90.0	18.51	6.74	5.62	30.87	8.14	0.69	0.11	0.40	1.19	0.31	0.39	0.10	32.45	8.55
30年目	H 58	0.98884	0.99246	1.00169	0.99099	0.2534	90.0	18.30	6.69	5.63	30.62	7.76	0.68	0.11	0.40	1.19	0.30	0.38	0.10	32.19	8.16
31年目	H 59	0.98871	0.99240	1.00168	0.99091	0.2437	90.0	18.10	6.64	5.64	30.38	7.40	0.67	0.11	0.40	1.18	0.29	0.38	0.09	31.93	7.78
32年目	H 60	0.98858	0.99235	1.00168	0.99082	0.2343	90.0	17.89	6.59	5.65	30.13	7.06	0.66	0.11	0.40	1.17	0.27	0.38	0.09	31.67	7.42
33年目	H 61	0.98845	0.99229	1.00168	0.99074	0.2253	90.0	17.68	6.53	5.66	29.88	6.73	0.65	0.10	0.40	1.16	0.26	0.37	0.08	31.42	7.07
34年目	H 62	0.98831	0.99223	1.00168	0.99065	0.2166	90.0	17.48	6.48	5.67	29.63	6.42	0.65	0.10	0.40	1.15	0.25	0.37	0.08	31.16	6.75
35年目	H 63	0.98818	0.99217	1.00167	0.99056	0.2083	90.0	17.27	6.43	5.68	29.38	6.12	0.64	0.10	0.40	1.15	0.24	0.37	0.08	30.90	6.44
36年目	H 64	0.98803	0.99211	1.00167	0.99047	0.2003	90.0	17.06	6.38	5.69	29.14	5.84	0.63	0.10	0.40	1.14	0.23	0.36	0.07	30.64	6.14
37年目	H 65	0.98789	0.99204	1.00167	0.99038	0.1926	90.0	16.86	6.33	5.70	28.89	5.56	0.62	0.10	0.41	1.13	0.22	0.36	0.07	30.38	5.85
38年目	H 66	0.98774	0.99198	1.00167	0.99029	0.1852	90.0	16.65	6.28	5.71	28.64	5.30	0.62	0.10	0.41	1.12	0.21	0.36	0.07	30.12	5.58
39年目	H 67	0.98759	0.99191	1.00166	0.99019	0.1780	90.0	16.44	6.23	5.72	28.39	5.05	0.61	0.10	0.41	1.12	0.20	0.35	0.06	29.86	5.31
40年目	H 68	0.98743	0.99185	1.00166	0.99010	0.1712	90.0	16.24	6.18	5.73	28.14	4.82	0.60	0.10	0.41	1.11	0.19	0.35	0.06	29.60	5.07
41年目	H 69	0.98727	0.99178	1.00166	0.99000	0.1646	90.0	16.03	6.13	5.74	27.90	4.59	0.59	0.10	0.41	1.10	0.18	0.35	0.06	29.34	4.83
42年目	H 70	0.98711	0.99171	1.00165	0.98990	0.1583	90.0	15.82	6.08	5.75	27.65	4.38	0.59	0.10	0.41	1.09	0.17	0.34	0.05	29.08	4.60
43年目	H 71	0.98694	0.99164	1.00165	0.98979	0.1522	90.0	15.62	6.03	5.76	27.40	4.17	0.58	0.10	0.41	1.08	0.17	0.34	0.05	28.82	4.39
44年目	H 72	0.98677	0.99157	1.00165	0.98969	0.1463	90.0	15.41	5.98	5.76	27.15	3.97	0.57	0.10	0.41	1.08	0.16	0.34	0.05	28.56	4.18
45年目	H 73	0.98659	0.99150	1.00165	0.98958	0.1407	90.0	15.20	5.93	5.77	26.90	3.79	0.56	0.09	0.41	1.07	0.15	0.33	0.05	28.30	3.99
46年目	H 74	0.98641	0.99143	1.00164	0.98947	0.1353	90.0	15.00	5.87	5.78	26.66	3.61	0.56	0.09	0.41	1.06	0.14	0.33	0.04	28.04	3.79
47年目	H 75	0.98622	0.99135	1.00164	0.98936	0.1301	90.0	14.79	5.82	5.79	26.41	3.44	0.55	0.09	0.41	1.05	0.14	0.32	0.04	27.79	3.62
48年目	H 76	0.98603	0.99128	1.00164	0.98925	0.1251	90.0	14.58	5.77	5.80	26.16	3.27	0.54	0.09	0.41	1.05	0.13	0.32	0.04	27.53	3.44
49年目	H 77	0.98583	0.99120	1.00164	0.98913	0.1203	90.0	14.38	5.72	5.81	25.91	3.12	0.53	0.09	0.41	1.04	0.12	0.32	0.04	27.27	3.28
合 計								962.27	352.30	281.03	1595.60	619.85	35.62	5.64	20.00	61.26	23.53	20.09	7.84	1676.96	651.22

便益の現在価値算定表

【残事業】

箇所名：伊予インター関連

年次	年度 基準年	総走行台和の年次別伸び率 (四国ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレーター	走行時間短縮便益 (億円/年)					走行費用減少便益 (億円/年)					事故減少便益 (億円/年)		合計 (億円/年)	
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全 車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 ②×(A)	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①～③)	割引率4%
供用開始年次	H 28	0.99373	0.98908	0.99477	0.99274	0.8219	90.0	4.38	1.04	0.34	5.76	4.73	0.45	0.13	0.24	0.82	0.67	0.03	0.02	6.61	5.42
1年目	H 29	0.99369	0.98896	0.99475	0.99269	0.7903	90.0	4.35	1.03	0.34	5.72	4.52	0.45	0.13	0.24	0.82	0.65	0.03	0.02	6.57	5.19
2年目	H 30	0.99365	0.98883	0.99472	0.99263	0.7599	90.0	4.32	1.02	0.34	5.68	4.32	0.45	0.13	0.24	0.82	0.62	0.03	0.02	6.53	4.96
3年目	H 31	0.99361	0.98871	0.99469	0.99258	0.7307	90.0	4.29	1.01	0.34	5.64	4.12	0.45	0.13	0.24	0.82	0.60	0.03	0.02	6.49	4.74
4年目	H 32	0.99357	0.98858	0.99466	0.99252	0.7026	90.0	4.26	1.00	0.34	5.60	3.93	0.45	0.13	0.24	0.82	0.58	0.03	0.02	6.45	4.53
5年目	H 33	0.99514	0.98954	0.99856	0.99416	0.6756	90.0	4.24	0.99	0.34	5.57	3.76	0.45	0.13	0.24	0.82	0.55	0.03	0.02	6.42	4.33
6年目	H 34	0.99512	0.98942	0.99856	0.99412	0.6496	90.0	4.22	0.98	0.34	5.54	3.60	0.45	0.13	0.24	0.82	0.53	0.03	0.02	6.39	4.15
7年目	H 35	0.99509	0.98931	0.99856	0.99409	0.6246	90.0	4.20	0.97	0.34	5.51	3.44	0.45	0.13	0.24	0.82	0.51	0.03	0.02	6.36	3.97
8年目	H 36	0.99507	0.98920	0.99856	0.99406	0.6006	90.0	4.18	0.96	0.34	5.48	3.29	0.45	0.13	0.24	0.82	0.49	0.03	0.02	6.33	3.80
9年目	H 37	0.99505	0.98908	0.99856	0.99402	0.5775	90.0	4.16	0.95	0.34	5.45	3.15	0.45	0.13	0.24	0.82	0.47	0.03	0.02	6.30	3.64
10年目	H 38	0.99502	0.98896	0.99855	0.99398	0.5553	90.0	4.14	0.94	0.34	5.42	3.01	0.45	0.13	0.24	0.82	0.46	0.03	0.02	6.27	3.49
11年目	H 39	0.99500	0.98883	0.99855	0.99395	0.5339	90.0	4.12	0.93	0.34	5.39	2.88	0.45	0.13	0.24	0.82	0.44	0.03	0.02	6.24	3.34
12年目	H 40	0.99497	0.98871	0.99855	0.99391	0.5134	90.0	4.10	0.92	0.34	5.36	2.75	0.45	0.13	0.24	0.82	0.42	0.03	0.02	6.21	3.19
13年目	H 41	0.99495	0.98858	0.99855	0.99387	0.4936	90.0	4.08	0.91	0.34	5.33	2.63	0.45	0.13	0.24	0.82	0.40	0.03	0.01	6.18	3.04
14年目	H 42	0.99492	0.98845	0.99855	0.99384	0.4746	90.0	4.06	0.90	0.34	5.30	2.52	0.45	0.13	0.24	0.82	0.39	0.03	0.01	6.15	2.92
15年目	H 43	0.99044	0.99323	1.00173	0.99206	0.4564	90.0	4.02	0.89	0.34	5.25	2.40	0.45	0.13	0.24	0.82	0.37	0.03	0.01	6.10	2.78
16年目	H 44	0.99035	0.99318	1.00173	0.99200	0.4388	90.0	3.98	0.88	0.34	5.20	2.28	0.45	0.13	0.24	0.82	0.36	0.03	0.01	6.05	2.65
17年目	H 45	0.99025	0.99313	1.00173	0.99193	0.4220	90.0	3.94	0.87	0.34	5.15	2.17	0.45	0.13	0.24	0.82	0.35	0.03	0.01	6.00	2.53
18年目	H 46	0.99015	0.99309	1.00172	0.99187	0.4057	90.0	3.90	0.86	0.34	5.10	2.07	0.45	0.13	0.24	0.82	0.33	0.03	0.01	5.95	2.41
19年目	H 47	0.99006	0.99304	1.00172	0.99180	0.3901	90.0	3.86	0.85	0.34	5.05	1.97	0.45	0.13	0.24	0.82	0.32	0.03	0.01	5.90	2.30
20年目	H 48	0.98996	0.99299	1.00172	0.99173	0.3751	90.0	3.82	0.84	0.34	5.00	1.88	0.45	0.13	0.24	0.82	0.31	0.03	0.01	5.85	2.20
21年目	H 49	0.98986	0.99294	1.00171	0.99167	0.3607	90.0	3.78	0.83	0.34	4.95	1.79	0.45	0.13	0.24	0.82	0.30	0.03	0.01	5.80	2.10
22年目	H 50	0.98975	0.99289	1.00171	0.99160	0.3468	90.0	3.74	0.82	0.34	4.90	1.70	0.45	0.13	0.24	0.82	0.28	0.03	0.01	5.75	1.99
23年目	H 51	0.98965	0.99284	1.00171	0.99152	0.3335	90.0	3.70	0.81	0.34	4.85	1.62	0.45	0.13	0.24	0.82	0.27	0.03	0.01	5.70	1.90
24年目	H 52	0.98954	0.99279	1.00170	0.99145	0.3207	90.0	3.66	0.80	0.34	4.80	1.54	0.45	0.13	0.24	0.82	0.26	0.03	0.01	5.65	1.81
25年目	H 53	0.98943	0.99274	1.00170	0.99138	0.3083	90.0	3.62	0.79	0.34	4.75	1.46	0.45	0.13	0.24	0.82	0.25	0.03	0.01	5.60	1.72
26年目	H 54	0.98931	0.99268	1.00170	0.99130	0.2965	90.0	3.58	0.78	0.34	4.70	1.39	0.45	0.13	0.24	0.82	0.24	0.03	0.01	5.55	1.64
27年目	H 55	0.98920	0.99263	1.00170	0.99123	0.2851	90.0	3.54	0.77	0.34	4.65	1.33	0.45	0.13	0.24	0.82	0.23	0.03	0.01	5.50	1.57
28年目	H 56	0.98908	0.99257	1.00169	0.99115	0.2741	90.0	3.50	0.76	0.34	4.60	1.26	0.45	0.13	0.24	0.82	0.22	0.03	0.01	5.45	1.49
29年目	H 57	0.98896	0.99252	1.00169	0.99107	0.2636	90.0	3.46	0.75	0.34	4.55	1.20	0.45	0.13	0.24	0.82	0.22	0.03	0.01	5.40	1.43
30年目	H 58	0.98884	0.99246	1.00169	0.99099	0.2534	90.0	3.42	0.74	0.34	4.50	1.14	0.44	0.13	0.24	0.81	0.21	0.03	0.01	5.34	1.36
31年目	H 59	0.98871	0.99240	1.00168	0.99091	0.2437	90.0	3.38	0.73	0.34	4.45	1.08	0.44	0.13	0.24	0.81	0.20	0.03	0.01	5.29	1.29
32年目	H 60	0.98858	0.99235	1.00168	0.99082	0.2343	90.0	3.34	0.72	0.34	4.40	1.03	0.43	0.13	0.24	0.80	0.19	0.03	0.01	5.23	1.23
33年目	H 61	0.98845	0.99229	1.00168	0.99074	0.2253	90.0	3.30	0.71	0.34	4.35	0.98	0.43	0.13	0.24	0.80	0.18	0.03	0.01	5.18	1.17
34年目	H 62	0.98831	0.99223	1.00168	0.99065	0.2166	90.0	3.26	0.70	0.34	4.30	0.93	0.42	0.13	0.24	0.79	0.17	0.03	0.01	5.12	1.11
35年目	H 63	0.98818	0.99217	1.00167	0.99056	0.2083	90.0	3.22	0.69	0.34	4.25	0.89	0.42	0.13	0.24	0.79	0.16	0.03	0.01	5.07	1.06
36年目	H 64	0.98803	0.99211	1.00167	0.99047	0.2003	90.0	3.18	0.68	0.34	4.20	0.84	0.41	0.13	0.24	0.78	0.16	0.03	0.01	5.01	1.01
37年目	H 65	0.98789	0.99204	1.00167	0.99038	0.1926	90.0	3.14	0.67	0.34	4.15	0.80	0.41	0.13	0.24	0.78	0.15	0.03	0.01	4.96	0.96
38年目	H 66	0.98774	0.99198	1.00167	0.99029	0.1852	90.0	3.10	0.66	0.34	4.10	0.76	0.40	0.13	0.24	0.77	0.14	0.03	0.01	4.90	0.91
39年目	H 67	0.98759	0.99191	1.00166	0.99019	0.1780	90.0	3.06	0.65	0.34	4.05	0.72	0.40	0.13	0.24	0.77	0.14	0.03	0.01	4.85	0.87
40年目	H 68	0.98743	0.99185	1.00166	0.99010	0.1712	90.0	3.02	0.64	0.34	4.00	0.68	0.39	0.13	0.24	0.76	0.13	0.03	0.01	4.79	0.82
41年目	H 69	0.98727	0.99178	1.00166	0.99000	0.1646	90.0	2.98	0.63	0.34	3.95	0.65	0.39	0.13	0.24	0.76	0.13	0.03	0.00	4.74	0.78
42年目	H 70	0.98711	0.99171	1.00165	0.98990	0.1583	90.0	2.94	0.62	0.34	3.90	0.62	0.38	0.13	0.24	0.75	0.12	0.03	0.00	4.68	0.74
43年目	H 71	0.98694	0.99164	1.00165	0.98979	0.1522	90.0	2.90	0.61	0.34	3.85	0.59	0.38	0.13	0.24	0.75	0.11	0.03	0.00	4.63	0.70
44年目	H 72	0.98677	0.99157	1.00165	0.98969	0.1463	90.0	2.86	0.60	0.34	3.80	0.56	0.37	0.13	0.24	0.74	0.11	0.03	0.00	4.57	0.67
45年目	H 73	0.98659	0.99150	1.00165	0.98958	0.1407	90.0	2.82	0.59	0.34	3.75	0.53	0.37	0.13	0.24	0.74	0.10	0.03	0.00	4.52	0.63
46年目	H 74	0.98641	0.99143	1.00164	0.98947	0.1353	90.0	2.78	0.58	0.34	3.70	0.50	0.36	0.13	0.24	0.73	0.10	0.03	0.00	4.46	0.60
47年目	H 75	0.98622	0.99135	1.00164	0.98936	0.1301	90.0	2.74	0.57	0.34	3.65	0.47	0.36	0.13	0.24	0.73	0.09	0.03	0.00	4.41	0.56
48年目	H 76	0.98603	0.99128	1.00164	0.98925	0.1251	90.0	2.70	0.57	0.34	3.61	0.45	0.35	0.13	0.24	0.72	0.09	0.03	0.00	4.36	0.54
49年目	H 77	0.98583	0.99120	1.00164	0.98913	0.1203	90.0	2.66	0.56	0.34	3.56	0.43	0.35	0.13	0.24	0.72	0.09	0.03	0.00	4.31	0.52
合 計								180.00	39.77	17.00	236.77	93.36	21.40	6.50	12.00	39.90	14.86	1.50	0.54	278.17	108.76

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道56号	伊予インター関連	4	6.4km

■事業費内訳（全体事業費）

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					11,594	
	改良費				8,262	
		土工	m ³	150,366	192	切土(49,128m ³)、盛土(101,238m ³)
		軟弱地盤改良工	m ³	34,000	422	置き換え基礎等
		法面工	m ²			切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	3,184	補強土壁、重力式擁壁等
		管渠工	m	8,652	404	
		函渠工	m	4,250	1,952	
		排水工	m	8,252	477	
		中央分離帯工	m	6,400	258	
		雑工	式	1	1,373	横断歩道橋(2箇所)、付替道路(2,250m)、付替水路(1,960m)等
	橋梁費				1,966	
		100m以上	m			
		100m未満	m	150	1,966	PC橋(2橋)、鋼橋(1橋)
	トンネル費					
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				932	
		車道舗装	m ²	91,591	817	
		歩道舗装	m ²	24,429	115	
	付帯施設費				434	
		交通管理施設工	式	1	434	標識工、防護柵工、道路照明等
		遮音壁	m			
②用地及補償費					26,999	
	用地費			m ²	104,000	13,024
		宅地	m ²	104,000	13,024	
		田畑	m ²			
		山林・原野	m ²			
		その他	m ²			
	補償費	式	1		13,975	
③間接経費			式	1	6,407	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					45,000	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道56号	伊予インター関連	4	0.3km

■事業費内訳（残事業費）

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					2,746	
	改良費				882	
		土工	m3	38,358	79	切土(49,128m3)、盛土(101,238m3)
		軟弱地盤改良工	m3			置き換え基礎等
		法面工	m ²			切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	457	補強土壁、重力式擁壁等
		管渠工	m	1,652	17	
		函渠工	m	700	169	
		排水工	m	2,252	51	
		中央分離帯工	m	2,180	67	
		雑工	式	1	42	横断歩道橋(2箇所)、付替道路(2,250m)、付替水路(1,960m)等
	橋梁費				1,580	
		100m以上	m			
		100m未満	m	95	1,580	PC橋(2橋)、鋼橋(1橋)
	トンネル費					
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				122	
		車道舗装	m ²	25,000	104	
		歩道舗装	m ²	7,500	18	
	付帯施設費				162	
		交通管理施設工	式	1	162	標識工、防護柵工、道路照明等
		遮音壁	m			
②用地及補償費						
	用地費			m ²		
		宅地	m ²			
		田畑	m ²			
		山林・原野	m ²			
		その他	m ²			
	補償費	式	1			
③間接経費		式	1	1,215	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費	
残事業費				3,961		

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道56号	伊予インター関連	4	6.4km

■維持管理費内訳（全体事業費）

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	6.4	960	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	3,840	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			4,800	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道56号	伊予インター関連	4	0.3km

■維持管理費（残事業費）

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	0.3	45	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	150	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			195	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。